600LS

Cash management System

取扱説明書

初めてお使いになる場合は、**「お使いになる前の準備（9 ページ）」**をご確認ください。

もくじ

・安全上のご注意	P3
・各部の名称と働き	P5
・キーボードレイアウトと内容	P6
・各種モードの変更、役割について	P7
・何を行いますか？	P8
・お使いになる前の準備	P9
・基本的な操作方法	P12
領収書を発行するとき	P14
金額を指定して領収書を発行するとき	P14
・操作を間違えたとき	P15
・登録作業中の商品すべてを取り消す（やり直す）とき	P18
売上げた商品を返品するとき	P18
・閉店後の操作	P19
日計精算レポートを発行する	P19
・各キーの便利な使い方	P20
掛売りやクレジットカードにて売上げ登録を行う	P25
レシートの再発行を行う、ドロアーを開ける	P26
バーコードスキャナーを用いての登録作業	P27
・各種レポートの発行	P30
電子ジャーナル（EJ）レポートの発行	P33
・各種設定の方法	P35
レシート印字内容の設定	P36
レシートヘッダー部に印字するメッセージを選択する	P37
レシートフッター部に印字するメッセージを選択する	P38
割引き率の設定	P39
割増し率の設定	P39
値引き金額の設定	P40
消費税率の設定	P40
領収書の収入印紙欄印字金額の設定	P41
領収書の印字方向の設定	P41
部門キーへの単価設定	P42
部門キーへの名称設定	P42
部門キーへの課税属性設定	P43
PLU の設定、削除（バーコードスキャナー接続時のみ）	P45
その他のシステム設定	P46
・各種設定内容の確認	P47
・SD メモリーカードの使用方法	P48
SD メモリーカードをフォーマットする	P48
SD メモリーカードを用いて各種設定内容を保存、読み出しする	P49
SD メモリーカードから、店名ロゴや店名スタンプを読み出す	P50
店名ロゴ及び店名スタンプの印刷イメージ	P51
・レジスターをリセットする	P52
・備品・消耗品のセットアップと交換	P53
設定内容保持（バックアップ）用乾電池のセット、交換	P53
ロール紙のセット、交換	P54
SD メモリーカードのセット方法	P58
バーコードスキャナーのセット方法	P59
・故障かな？と思ったら	P60
・仕様	P61
・保証およびアフターサービス	P62

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、お客様や他の人々への危害や損害を
未然に防止するためのものですので、必ず守ってください。

【警告】と**【注意】**の意味は以下の通りです。

⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人がケガをしたり物的損害を発生する恐れがある内容を示しています。

⚠ 警告

電源・電圧について

・100V 以外の電圧で使用しないでください。
　また、タコ足配線をしないでください。（火災、感電の原因になることがあります。）

電源コードや差し込みプラグについて

・電源コードを傷つけたり、無理に曲げたりしないでください。
・電源コードは、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、加工したり、上に重いものを乗せたりしないでください。　電源コードが破損して、火災や感電の原因になることがあります。）
・濡れた手で差し込みプラグに触れないでください。感電の恐れがあります。

内部に異物や水を入れないでください

・本機の開口部から内部に、金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。
　また花瓶の水やジュース等の液体を本機の内部にこぼさないでください。
　火災や感電の原因になることがあります。
　万一、異物や水等の液体が本体内部に入った場合は、直ちに使用を取りやめて、差し込みプラグをコンセントから抜いて、使用しないようにしてください。

キャビネットは開けないでください

・本機のキャビネットを開けないでください。内部には電圧の高い部品や鋭く尖った部分があります。
　感電したり、ケガをする恐れがあります。
・本機を改造しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

⚠ 注意

設置場所について

・ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定な場所に置かないでください。
落ちたり倒れたりしてケガの原因になることがあります。
・湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になることがあります。
・調理場や加湿器の近辺等、油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。
火災や感電の原因になることがあります。

本機の上に、物を置かないでください

・本機の上に、花瓶や植木鉢、コップや液体の入った容器、または金属物を置かないでください。
こぼれたり、内部に入った場合、火災や感電の原因になることがあります。
・本機の上に重い物を置かないでください。　置いた物のバランスが崩れて倒れたり、落下してケガの原因になることがあります。

差し込みプラグを抜く時は

・差し込みプラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷付き火災や感電の原因になることがあります。

移動する場合は

・本機の移動は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。
電源コードを引っ張ると、コードが傷付き火災や感電の原因になることがあります。

長期間ご使用にならないときは

・長期間本機をご使用にならないときは、安全のために差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

ドロアー（引き出し）の注意

・ドロアー（引き出し）が開く際、お子様の顔等に当たらないようご注意ください。
ケガの原因になることがあります。
・ドロアー（引き出し）が開いているときに、ドロアー（引き出し）に寄りかからないでください。
倒れたり、落下してケガの原因になることがあります。

備品、消耗品のセットや交換時の注意

・ロール紙のセットや交換の際に、プリンターのギアに髪の毛や衣服、スカーフ等が巻き込まれないようご注意ください。　ケガの原因になることがあります。
・プリンターの印字部品やモーター部品には触れないでください。ケガや火傷の原因になることがあります。

乾電池に関する注意

・本機で指定されている乾電池以外は使用しないでください。また、古い乾電池と新しい乾電池を混ぜて使用しないでください。　乾電池の破裂や液漏れ等により火災やケガの原因になることがあります。
・本機に電池を取り付ける際、プラス極性（+）とマイナス極性（−）の向きに注意して取り付けてください。
極性を間違えて取り付けると、乾電池の破裂や液漏れ等により火災やケガの原因になることがあります。

お願い（必ず守ってください）

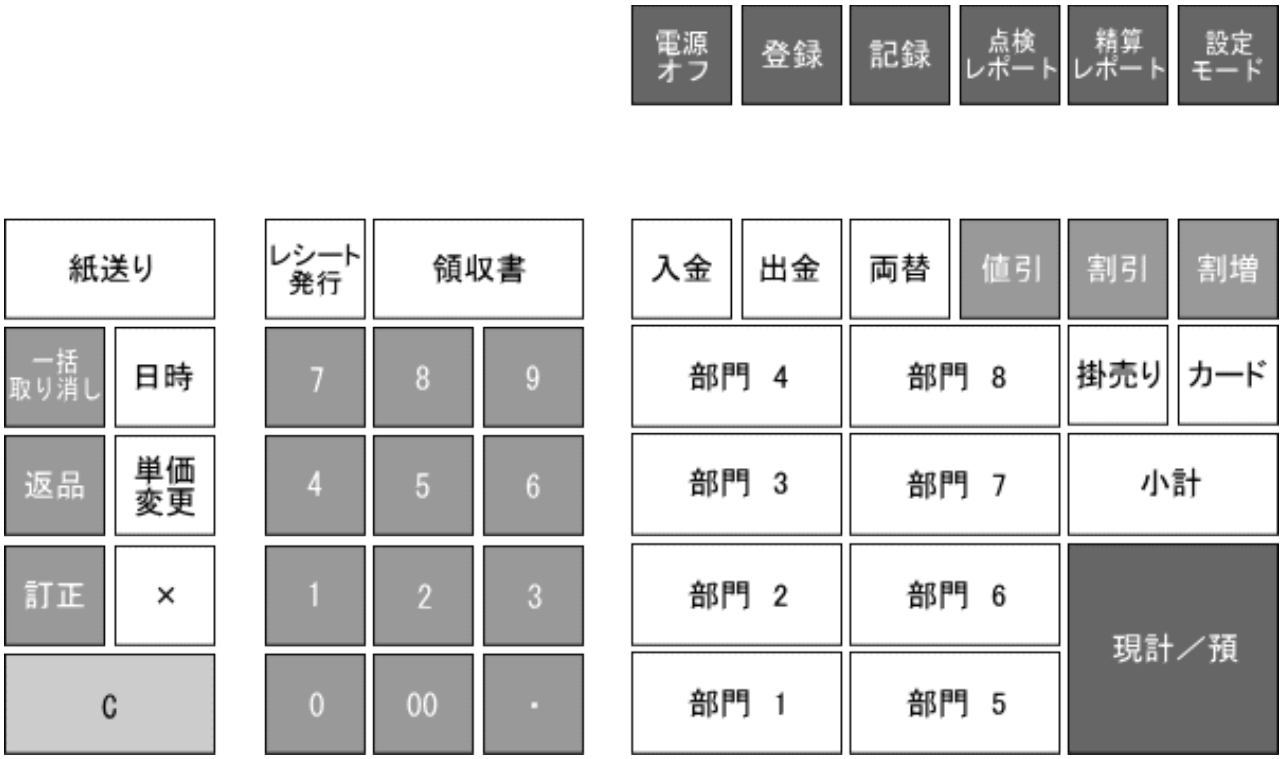
1. 直射日光の当たる場所や温度が高くなる場所、水がかかる所には置かないでください。
2. 揮発性の液体（ベンジン、シンナー等）でレジスターを拭かないでください。
3. 乾電池は国産の同一銘柄のものをご使用ください。
4. 乾電池は液漏れ等破損のあるものを使用しないでください。

各部の名称と働き

付属品

・取扱説明書×1（この取扱説明書のことです。）
・店名ロゴ作成注文書×1
・ジャーナル巻き取りホルダー×1
・ドロアキー×2

キーボードレイアウトと内容



C	クリアキー 数値やエラーのクリア等に使用	単価変更	PLU の単価変更登録に使用
割増	割増し登録に使用 設定モード時は、設定内容印字の選択に使用	レシート発行	レシートオフ設定時のレシート発行やレシート再発行に使用
カード	カードでの支払いに使用	領収書	領収書発行に使用
出金	ドロアーからの出金に使用 設定モード時は、SD への保存選択に使用	入金	ドロアーへの入金に使用 設定モード時は、部門等の選択に使用
小計	取引き中の小計算出に使用	×	乗算（掛け算）登録に使用
値引	値引き登録に使用 設定時モード時は、初期設定項目選択に使用	両替	両替、数字印字に使用 設定モード時は、SD への読出し選択に使用
訂正	訂正登録に使用	日時	日付及び時刻表示に使用
一括取り消し	全登録キャンセル時に使用	00 0 ～ 9	数値入力に使用
返品	返品登録に使用	・	小数点入力に使用
割引	割引き登録に使用	部門 1 ～ 部門 8	部門登録に使用
現計／預	現金での支払い、預かりに使用	登録 記録 点検レポート 精算レポート 設定モード	モードキー 各種モード変更に使用
掛売り	掛売り処理に使用	電源オフ	電源オフに使用

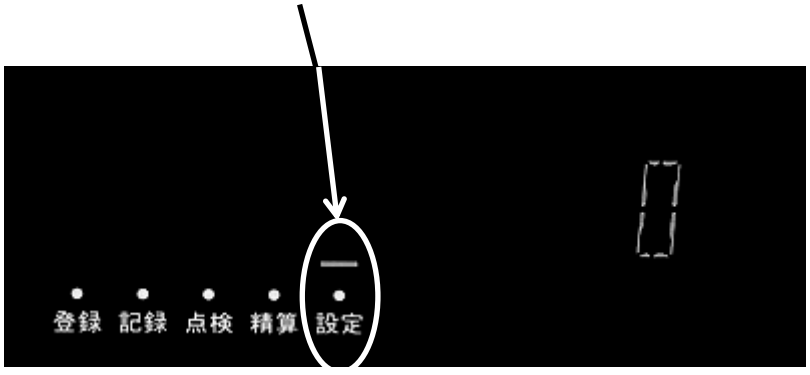
各種モードの変更について

このレジスターは、電源を ON する場合や各種モードの切り替えをキーボード上側に配列されている、
各種モードキーにて行います。
電源を ON にする場合やモードを切り替える際には、各種モードキーを、**2 秒以上押し続ける**必要があります。
ご注意願います。

各種モードキーの役割

電源 オフ	：	電源をオフするときに使用します。
登録	：	通常の売上げの登録を行うモードです。（レシートを発行します。）
記録	：	ジャーナルとして売上げの記録を残すモードです。
点検 レポート	：	売上げの点検レポートを発行するモードです。
精算 レポート	：	売上げの精算レポートを発行するモードです。
設定 モード	：	お店に合わせた様々な設定を行うモードです。

また、レジスターが現在どのモードで使用中かを確認するには、表示窓の「-」の位置を確認してください。
（例）下記の表示の場合は、「設定モード」での使用中を表しています。



何を行いますか？

本レジスターで行いたいことを、記載ページより参照できます。

●最初に日付や時刻を設定したい
⇒ 10 ページ

●基本的な操作方法が知りたい
⇒ 12 ページ～

●操作の間違いを訂正したい
⇒ 15 ページ～

●領収書を発行したい
⇒ 14 ページ

●ドロアーを開けたい
⇒ 26 ページ

●値引き、割引き、割増し操作をしたい
⇒ 21 ページ～

●レシートを発行せずに使用したい
⇒ 46 ページ（オプション番号 16）

●売上げた商品の返品登録処理をしたい
⇒ 18 ページ

●売上げの内容・金額を確認したい
（営業時間内）
⇒ 31 ページ

●ロール紙のセットや交換をしたい
⇒ 54 ページ～

●バーコードスキャナーを用いて、
商品の売上登録を行いたい
⇒ 27 ページ

●部門に名称を設定したい
⇒ 42 ページ

●レシートにメッセージや電話番号を
印字したい
⇒ 36 ページ

●SD メモリーカードに設定内容を保存したい
⇒ 49 ページ

●別購入した店名ロゴやスタンプの
設定を行いたい
⇒ 50 ページ

●レジスターの設定内容を確認したい
⇒ 47 ページ

●レシートや領収書に店名ロゴ（別売り）や
店名スタンプ（別売り）を印字したい
⇒ 別紙 「店名ロゴ作成注文書」

●レジスターをリセットしたい
（初期状態に戻したい）
⇒ 52 ページ

お使いになる前の準備

「設置手順」

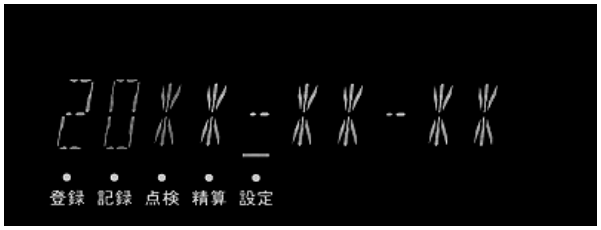
本機を初めてお使いになる場合は、以下の手順に従ってセットして頂くようお願い致します。

① 梱包箱から、本体を含むすべての付属品を取り出します。

② 付属品がすべて揃っているか確認し、本体に貼ってある保護テープを剥がします。
⇒ 5 ページ参照

③ 本体を設置場所（平らな場所）に置き、家庭用コンセントにプラグを挿し込みます。
（自動的に電源が ON になり、表示窓に下図のように表示されます。

コンセント挿し込み時の表示窓イメージ



④ 設定内容保持用の乾電池（単 3 型×3 本：別売り）をセットします。
乾電池は、必ずコンセントに挿し込んだ状態でセットしてください。
⇒ 53 ページ参照

⑤ ロール紙をセットします。
・レシートとして用いる場合 ： **⇒ 54 ページの 2. 以降参照**
・ジャーナルとして用いる場合 ： **⇒ 55 ページの 2. 以降参照**

⑥ 日付と時間を設定します。 **⇒ 10 ページ参照**

必要に応じて、下記項目を設定します。
・部門の単価、名称及び税属性の設定 **⇒ 42 ページ参照**
・商品単価（PLU）の設定（スキャナーがある場合のみ） **⇒ 45 ページ参照**
・割引率及び割増率の設定 **⇒ 39 ページ参照**
・消費税の設定 **⇒ 40 ページ参照**
・その他のシステム設定 **⇒ 46 ページ参照**

☆お買い上げ時は、内税（税込）方式：消費税 5%に設定されています。

⑦ モードを変更します
・レシートモードで使用する場合
⇒「登録」のキーを 2 秒以上長押しし、「登録モード」に切り替えます。
・ジャーナルモードで使用する場合
⇒「記録」のキーを 2 秒以上長押しし、「記録モード」に切り替えます。

⑧ これで、レジスターが使用（登録作業）できる状態になります。

「初期状態からの日時設定」

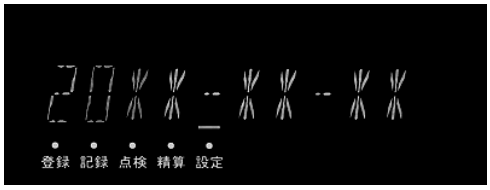
お買い上げ頂いて初めて電源を入れた際には、日時を設定する必要があります。
日時を設定しないと、レジスターは動作しない仕様となっておりますので、最初に
必ず日時の設定を行ってください。

＜例＞
2012 年 9 月 21 日、14 時 5 分　に日時を設定する。

＜手順＞

1. 電源プラグをコンセントに正しく挿し込みます。

2. コンセントに挿し込むと、表示窓に [20**-**-**] と表示されます。



3. 設定する日付を、西暦年（下 2 桁）、月（2 桁）、日（2 桁）の順に入力し、[現計／預]キーを押します。

4. 日付の設定が完了すると、表示窓に [TIME **-**] と表示されます。

5. 設定する時刻を、24 時間制で 、時（2 桁）、分（2 桁）の順で入力し、[現計／預]キーを押します。

6. 時刻の設定が完了すると、表示窓に [OK？] と表示されるので、そのまま[現計／預]キーを押します。

7. 日時の設定が完了し、「設定モード」で待機状態になります。

☆ 入力内容の修正を行う場合は、[C]キーを押します。

（注意）
年は、西暦年の下 2 桁を入力します。(2012 年　⇒　12)
月と日は、必ず 2 桁ずつ入力します。(1～9　⇒　01～09)
時と分は、必ず 2 桁ずつ入力します。(1～9　⇒　01～09)

～ 参 考 ～

『消費税の計算方式について』

消費税の計算方式には、下記 3 点の課税方式があります。

内税方式（税込）		外税方式		非課税方式	
提示商品価格に、消費税が含まれている販売方式		提示商品価格に、消費税が含まれていない販売方式		提示商品価格に、消費税を掛けない販売方式	
＜例＞		＜例＞		＜例＞	
表示価格	1000 円	表示価格	1000 円	表示価格	1000 円
本体価格	952 円	本体価格	1000 円	本体価格	1000 円
消費税額	48 円	消費税額	50 円	消費税額	0 円
合計	1000 円	合計	1050 円	合計	1000 円

☆本機は、初期状態で「内税方式：消費税　5%」に設定されています。（円未満は、四捨五入処理。）

『点検レポート及び精算レポートの印字項目収支計算式について』

[部門売上合計]
　＝[部門 1～8]の合計　（商品に対する、[値引]、[割引]、[割増]は反映済み）

[総売上合計]
　＝[部門売上合計]

[純売上合計]
　＝[総売上合計]－[小計値引合計]－[小計割引合計]＋[小計割増合計]＋[外税額合計]－[丸め値引合計]

[GT（GRAND TOTAL）]
　＝[純売上合計]の累計（各レシート毎に加算）

[現金在高]
　＝[純売上合計]－[掛売合計]－[カード売合計]＋[入金合計]－[出金合計]

基本的な操作方法

商品の売上登録を行うときには、**[登録]**又は**[記録]**のキーを押し続け、表示窓の該当モード上部に[－]が点灯していることを確認して下さい。([登録]か[記録]のいずれかのモードでの操作方法です。)

☆本項での説明、印字例は「登録、内税方式、消費税 5%（円未満四捨五入)」にて設定された場合となっています。
異なる課税方式や税率での操作方法は変わりませんが、印字内容は異なりますのでご注意願います。

『1 品の商品をお買い上げのとき』

1 品の商品をお買い上げのときの操作方法を説明します。

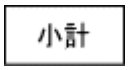
＜例＞

商品単価	数量	部門	預かり金
￥1200	1	部門　1	￥2000

＜手順＞

1. ＜例＞のように、商品の単価と 部門 キーを押します。

2. 商品をすべて入力したあとに、 小計 キーを押します。



3. 預かり金額を入力して、 現計／預 キーを押します。

『同じ商品を複数お買い上げのとき』

同じ商品を複数お買い上げのときの操作方法を説明します。

＜例＞

商品単価	数量	部門	預かり金
￥200	12	部門　2	￥2500

＜手順＞

1. ＜例＞のように、商品の数量、 × キー、単価、 部門 キーを押します。

2. 商品をすべて入力したあとに、 小計 キーを押します。

3. 預かり金を入力して、 現計／預 キーを押します。

（注意）

乗算 × キーを用いての登録は、お買い上げ数量が多いときに便利にご使用頂けます。
また、整数倍のみでなく小数点を含んだ倍数でもご使用頂けます。（計り売り等に使用できます。）
整数倍の場合は、 部門 キーを複数回押して、繰り返し登録を行うことも可能です。

『2 品以上の商品をお買い上げのとき』

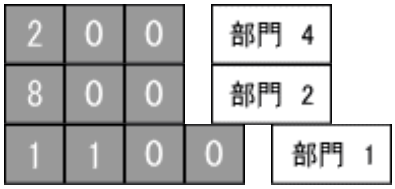
複数の商品をお買い上げのときの操作方法を説明します。

＜例＞

商品単価	数量	部門	預かり金
￥200	1	部門　4	￥2500
￥800	1	部門　2	
￥1100	1	部門　1	

＜手順＞

1. ＜例＞のように、商品の単価と 部門 キーを押します。
   商品の種類だけ操作を繰り返します。



2. 商品をすべて入力したあとに、 小計 キーを押します。

3. 預かり金額を入力して 現計／預 キーを押します。

『複数の商品を複数お買い上げのとき』

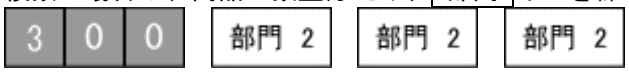
複数の商品を複数お買い上げのときの操作方法を説明します。

＜例＞

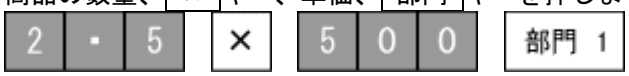
商品単価	数量	部門	預かり金
￥300	3	部門　2	￥2500
￥500	2.5	部門　1	

＜手順＞

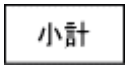
1. ＜例＞のように、商品の単価と 部門 キーを押します。
   複数の場合は、商品の数量分だけ、 部門 キーを繰り返して押します。



2. 商品の数量、 × キー、単価、 部門 キーを押します。



3. 商品をすべて入力したあとに、 小計 キーを押します。



4. 預かり金を入力して 現計／預 キーを押します。

（注意）

乗算 × キーを用いての登録は、お買い上げ数量が多いときに便利にご使用頂けます。
また、整数倍のみでなく小数点を含んだ倍数でもご使用頂けます。（計り売り等に使用できます。）
整数倍の場合は、 部門 キーを複数回押して、繰り返し登録を行うことも可能です。

領収書を発行するとき（注意）領収書の発行は、[登録]モードでのみ可能です。

この操作を行うときには、**[登録]**のキーを押し続け、表示窓の該当モード上部に[－]が点灯していることを確認してください。
領収書の発行は**[記録]モード**では行えませんのでご注意願います。

レシートを発行してから領収書を発行するときの操作を説明します。
（領収書は、レシート発行設定が「オフ」の状態でも発行することができます。）

＜例＞

商品単価	数量	部門	預かり金
￥3000	2	部門　1	￥30000
￥15000	1	部門　5	

＜手順＞

1. ＜例＞のように、商品の単価と 部門 キーを押します。
複数の場合は、商品の数量分だけ、 部門 キーを繰り返して押します。

3 0 0 0 部門 1 部門 1
1 5 0 0 0 部門 5

2. 商品をすべて入力したあとに、 小計 キーを押します。

小計

3. 預かり金を入力して 現計／預 キーを押します。
（ドロアーが開き、レシートが発行されます。）

3 0 0 0 0 現計／預

4. 領収書 キーを押します。

領収書

（注意）
領収書の収入印紙貼り付け部分は、設定値（初期状態は、￥30000）以上で自動的に印字されます。
設定値の変更については、41 ページを御参照ください。

金額を指定して領収書を発行するとき（注意）領収書は、[登録]モードでのみ発行可能です。

金額を指定して領収書を発行するときの操作を説明します。
（領収書は、レシート発行が「オフ」の状態でも発行することができます。）

＜例＞
￥10000　の領収書を発行する。

＜手順＞

1. ＜例＞のように、発行したい領収書の金額を入力します。

1 0 0 0 0

2. 領収書 のボタンを押すと、入力した金額の領収書が発行されます。

領収書

操作を間違えたとき

商品の売上登録を行うときには、**[登録]**又は**[記録]**のキーを押し続け、表示窓の該当モード上部に[－]が点灯していることを確認してください。([登録]か[記録]のいずれかのモードでの操作方法です。)

☆本項での説明、印字例は「登録、内税方式、消費税 5%（円未満四捨五入)」にて設定された場合となっています。
異なる課税方式や税率での操作方法は変わりませんが、印字内容は異なりますのでご注意願います。

ここでは操作を間違えたときの操作方法について、次の場合に分けて説明します。

- ・部門・取引キーを押す前に訂正するとき
- ・部門キーを押した直後に訂正するとき
- ・小計キーを押した後に、一部の商品を訂正するとき
- ・売上作業中の、すべての商品登録を取り消す（やり直す）とき
- ・売上げた商品を返品するとき

『部門・取引キーを押す前に訂正するとき』

[部門]キーを押す前であれば、すべて[C]キーで訂正することができます。

＜例＞
下記表の各操作時（①～④）に、操作を間違った場合の訂正手順を説明します。

	商品単価	数量	部門	預り金
①	¥2000	1	部門　1	④　¥10000
②	¥300	5	部門　4	
③	¥400	10	部門　2	

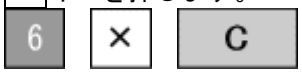
①　単価を押し間違えた

＜手順＞
1. [C]キーを押します。

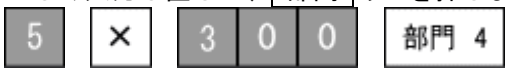
2. 正しく入力し直して、[部門]キーを押します。

②　数量を間違えて[×]キー押してしまった

＜手順＞
1. [C]キーを押します。



2. 正しく入力し直して、[部門]キーを押します。



③　乗算（掛け算）で単価を間違えた

＜手順＞
1. [C]キーを押します。

2. 正しく入力し直して、[部門]キーを押します。

④　預かり金額を間違えた

1. [C]キーを押します。

2. 正しく入力し直して、[現計／預]キーを押します。

『部門キーを押した直後に訂正するとき』

部門 キーを押した直後は、 訂正 キーを押すだけで訂正することができます。

＜例＞
下記表の各操作時（①～②）に、操作を間違った場合の訂正手順を説明します。

	商品単価	数量	部門	預り金
①	¥700	1	部門　3	¥2000
②	¥300	3	部門　1	

① 単価を間違えて 部門 キーを押してしまった。

＜手順＞
1. 訂正 キーを押します。

5 0 0　部門 3　訂正

2. 正しく入力し直して、 部門 キーを押します。

7 0 0　部門 3

② 乗算（掛け算）で単価を間違えて 部門 キーを押してしまった。

＜手順＞
1. 訂正 キーを押します。

3　×　2 0 0　部門 1　訂正

2. 正しく入力し直して、 部門 キーを押します。

3　×　3 0 0　部門 1

3. 小計 キーを押し、預かり金額を入力し、 現計／預 キーを押します。

小計　2 0 0 0　現計／預

```
**********************************
      毎度ありがとうございます
**********************************
2012年09月21日  15:23      000014

部門03                      ¥500 内
訂正
部門03                     ¥-500 内
部門03                      ¥700 内
部門01
 3x ¥200                    ¥600 内
訂正
部門01
 3x ¥200                   ¥-600 内
部門01
 3x ¥300                    ¥900 内
--------------------------------
小計                      ¥1,600
--------------------------------
合計                      ¥1,600
現金                      ¥2,000
お釣り                      ¥400
--------------------------------
税額 5%                    ¥76 内
商品点数                      4
```

（注意）
訂正操作を行うと、レシートに訂正内容が印字されます。

『小計キーを押した後に、一部の商品を訂正するとき』

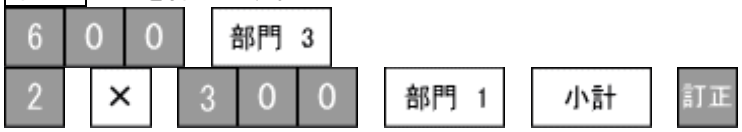
小計 キーを押した後に、一部の商品のみを訂正することができます。

＜例＞
下記表の各操作時（①～②）に、操作を間違った場合の訂正手順を説明します。

	商品単価	数量	部門	預り金
①	¥700	1	部門　3	¥2000
②	¥300	3	部門　1	

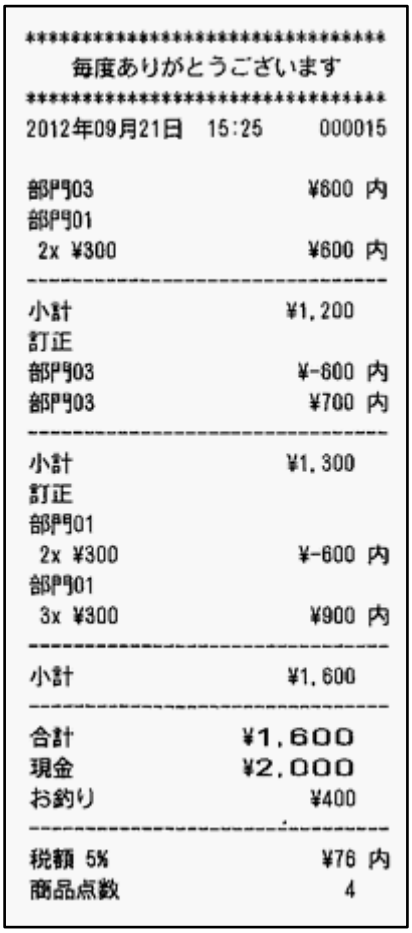
① 小計 キーを押した後に、単価の間違いに気が付いた。

＜手順＞
1. 訂正 キーを押します。



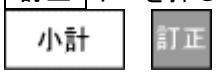
2. 間違えた部分を、再度入力します。

3. 正しく入力し直します。



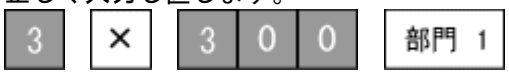
② 更に 小計 キーを押した後に、数量の間違いに気が付いた。

＜手順＞
1. 訂正 キーを押します。

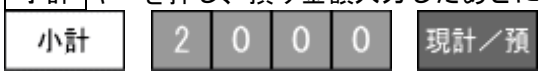


2. 間違えた部分を、再度入力します。

3. 正しく入力し直します。



4. 小計 キーを押し、預り金額入力したあとに、 現計／預 キーを押します。



（注意）
訂正操作を行うと、レシートに訂正内容が印字されます。

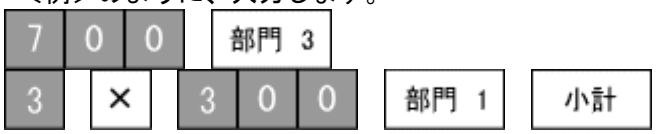
『登録作業中の、すべての商品を取り消す（やり直す）とき』

売上げ登録作業を最初からやり直す場合は、[一括取り消し]キーを押すことでやり直しが可能です。
[一括取り消し]キーは、[部門]キー、[小計]キーのどちらのキーの後に押しても動作します。

＜例＞
下記表の登録作業中に、一括取り消し処理を行う場合

商品単価	数量	部門	預り金
¥700	1	部門　3	なし
¥300	3	部門　1	

＜手順＞
1. ＜例＞のように、入力します。



2. [一括取り消し]キーを押します。

3. 表示窓に、[CANCEL OK?]と表示されるので、[現計／預]キーを押して確定させます。
（一括取り消しを行わない場合は、[C]キーを押してキャンセルできます。）

（注意）
[一括取り消し]キーは、[部門]キー、[小計]キーのどちらのキーの後に押しても動作します。

『売上げた商品を返品するとき』

売上げた商品（レシート発行済み）を返品する際には、[返品]キーを使用します。

＜例＞
下記表の売上げた商品（レシート発行済み）の返品処理を行う場合

商品単価	数量	部門	預り金
¥700	1	部門　3	なし
¥300	3	部門　1	

＜手順＞
1. [返品]キーを押して、返品したい商品の単価と部門を入力します。
（商品の種類が複数の場合は、商品の種類ごとに[返品]キーを押します。）

2. [現計／預]キーを押します。

（注意）
複数種類の商品を返品する場合は、商品の種類ごとに[返品]キーを押します。

閉店後の操作（1 日の売上レポートを発行する）

各種レポートの発行操作を行うときには、**「精算レポート」**のキーを押し続け、
表示窓の該当モード上部に[－]が点灯していること確認してください。

「日計精算レポートを印字する」

1 日の営業終了後に日計レポートを発行するときには、**「精算レポート」**モードに切り替えて、
現計／預 キーを押します。

日計レポートの印字例

Z1	0001	←Ｚカウンタ（Z1 は日計ｼﾝﾎﾞﾙ）
部門 01	4	←部門別売上個数
	¥11,230 内	←部門別売上金額
	|	
	|	
部門 08	1	
	¥120 内	
部門売上合計	¥21,956	←部門売上合計
税額 5%	¥1,045 内	←内税額
税抜き額 5%	¥20,911 内	←内税抜き額
課税対象額 5%	¥21,956 内	←内税対象額
税額 5%	¥0 外	←外税額
税抜き額 5%	¥0 外	←外税抜き額
課税対象額 5%	¥0 外	←外税対象額
非課税額	¥0	←非課税額
税額合計	¥1,045	←税額合計
税抜き額合計	¥20,911	←税抜き額合計
課税対象額合計	¥21,956	←課税対象額合計
値引合計	¥-10	←商品値引き額
	¥-100	←小計値引き額
割引合計	¥-200	←商品割引き額
	¥-584	←小計割引き額
割増合計	¥150	←商品割増し額
	¥263	←小計割増し額
純売上合計	¥21,535	←純売上げ
返品合計	¥-350	←返品額
訂正合計	¥-230	←訂正額
総売上合計	¥21,956	←総売上げ
丸め値引合計	¥0	←丸め値引き額
現金売合計	0004	←現金売り回数
	¥15,035	←現金売り金額
掛売合計	0001	←掛売り回数
	¥5,000	←掛売り金額
カード売合計	0001	←カード売り回数
	¥1,500	←カード売り金額
入金合計	0001	←入金回数
	¥20,000	←入金額
出金合計	0001	←出金回数
	¥10,000	←出金額
両替合計	0003	←両替回数
現金在高	¥25,035	←現金在高
掛在高	¥5,000	←掛在高
カード在高	¥1,500	←カード在高
ＧＴ	¥21,535 ＊	←純売上げ累計

（注意）「精算レポート」モードで日計レポートを発行した場合、レポート発行後自動的に売上内容が消去されます。
同時に「期間累計」に内容が加算されます。（GT（純売上げ累計）内容は消去されません。）

各キーの便利な使い方

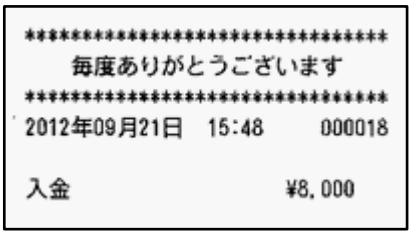
本項の操作を行うときには、**[登録]**又は**[記録]**のキーを押し続け、表示窓の該当モード上部に
[ー]が点灯していることを確認してください。([登録]か[記録]のいずれかのモードでの操作方法です。)

☆本項での説明、印字例は「登録、内税方式、消費税 5%（円未満四捨五入)」にて設定された場合となっています。
異なる課税方式や税率での操作方法は変わりませんが、印字内容は異なりますのでご注意願います。

「売上げに関係ない現金をドロアーに入れる（入金操作を行う)」

つり銭用の小銭や、貸し売り代金の受け取りなど、売上げではない現金をドロアーに入れる場合には
入金 キーを使用します。

＜例＞
つり銭用として、¥8000　をドロアーに入れる。



＜手順＞
1. ＜例＞のように、入金する金額を入力し、 入金 キーを押します。

2. ドロアーが開くので、お金を入れます。

（注意）
上記操作を行うことにより、売上レポートに入金回数と金額がカウントされます。

「売上げに関係ない現金をドロアーから出す（出金操作を行う)」

ドロアーがいっぱいになったときなど、売上げではない現金をドロアーから取り出す際には、
出金 キーを使用します。

＜例＞
¥150000 を金庫に移すため、現金を取り出す。

＜手順＞
1. ＜例＞のように、出金する金額を入力し、 出金 キーを押します。

2. ドロアーが開くので、お金を取り出します。

（注意）
上記操作を行うことにより、売上レポートに出金回数と金額がカウントされます。

「値引き操作を行う」

商品の値引きや、合計金額からの値引きを行うときは、[値引]キーを使います。

＜例＞
下記表の各操作時（①～②）に、値引きを行う場合の操作手順を説明します。

	商品単価	数量	部門	値引き額	預り金
①	¥700	1	部門　3	¥100	¥2000 ②小計より、¥500 値引

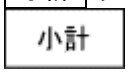
① 商品より、¥100 の値引きを行う。

＜手順＞
1. ＜例＞のように、商品の単価、[部門]キーを押します。

2. 値引きする金額を入力し、[値引]キーを押します。

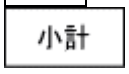
② 小計より、 ¥500 の値引きを行う。

＜手順＞
1. [小計]キーを押します。



2. 値引きする金額を入力し、[値引]キーを押します。

3. [小計]キーを押します。（表示窓に、値引き後の小計額が表示されます。）



4. 預かり金額を入力したあとに、[現計／預]キーを押します。

（注意）
[値引]キーには、予め値引する金額を設定することが可能です。
値引き金額が設定されている場合は、上記操作の[値引]キーを押す前に値引き金額を入力する必要はありません。

[値引]キーへの、値引き金額設定は、40 ページを御参照ください。

「割引き操作を行う」

商品の割引きや、合計金額からの割引きを行うときは、 割引 キーを使います。

＜例＞
下記表の各操作時（①～②）に、割引きを行う場合の操作手順を説明します。

	商品単価	数量	部門	割引き率	預り金
①	¥700	1	部門　3	10%	¥2000 ②小計より、20%割引

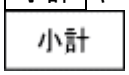
① 商品より、10%の割引きを行う。

＜手順＞
1. ＜例＞のように、商品の単価、 部門 キーを押します。

2. 割引きする%（割引率）を入力し、 割引 キーを押します。

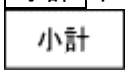
② 小計より 20% の割引きを行う。

＜手順＞
1. 小計 キーを押します。



2. 割引きする%（割引率）を入力し、 割引 キーを押します。

3. 小計 キーを押します。（表示窓に、割引き後の小計額が表示されます。）



4. 預かり金額を入力したあとに、 現計／預 キーを押します。

（注意）
割引 キーには、予め割引き率を設定することが可能です。
割引き率が設定されている場合は、上記操作の 割引 キーを押す前に割引率を入力する必要はありません。

割引 キーへの、割引き率設定は、39 ページを御参照ください。

「割増し操作を行う」

商品の割増しや、合計金額からの割増しを行うときは、[割増]キーを使います。

＜例＞
下記表の各操作時（①～②）に、割増しきを行う場合の操作手順を説明します。

	商品単価	数量	部門	割増し率	預り金
①	¥700	1	部門　3	10%	¥2000 ②小計より、20%割増

① 商品に、10%の割増しを行う。

＜手順＞
1. ＜例＞のように、商品の単価、[部門]キーを押します。

[7][0][0] [部門 3]

2. 割増しする%（割増率）を入力し、[割増]キーを押します。

[1][0] [割増]

② 小計に 20% の割増しを行う。

＜手順＞
1. [小計]キーを押します。

[小計]

2. 割増しする%（割増率）を入力し、[割増]キーを押します。

[2][0] [割増]

3. [小計]キーを押します。（表示窓に、割増し後の小計額が表示されます。）

[小計]

4. 預かり金額を入力したあとに、[現計／預]キーを押します。

[2][0][0][0] [現計／預]

（注意）
[割増]キーには、予め割増し率を設定することが可能です。
割増し率が設定されている場合は、上記操作の[割増]キーを押す前に割増率を入力する必要はありません。

[割増]キーへの、割増し率設定は、39 ページを御参照ください。

「現在の日付や時間を確認する」

「登録」モード及び「記録」モードで、商品登録作業を行っていない状態のときに限り、
現在の日付や時刻を確認することができます。

日付や時刻の確認を行うときは、 日時 キーを押してください。

日時 キーを押すたびに、表示窓に、設定された日付と時刻が繰り返し表示されます。

（注意）

日付や時間の表示から、通常表示に戻るときは、 C キーを押してください。

「レシートにメモを印字する」

「登録」モードでの発行レシートや、「記録」モードでのジャーナルに、売上げとは関係のない数字を
メモとして印字させることができます。

＜例＞

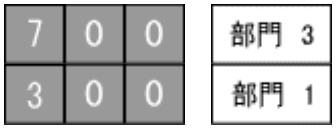
レシートに、「1234567」と数字を印字させた後に、下記商品の売上登録を行う。

商品単価	数量	部門	預り金
¥700	1	部門　3	¥5000
¥300	1	部門　1	

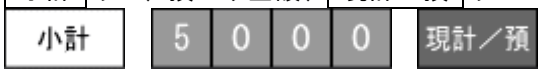
＜手順＞

1. 数字キーで、 1 、 2 、 3 、 4 、 5 、 6 、 7 、と入力した後に、 両替 キーを押します。

2. そのまま続けて、売上げの登録を行います。
（＜例＞の単価、部門をそれぞれ入力します。）



3. 小計 キー、預かり金額、 現計／預 キーの順で押します。



（注意）

メモ印字は、最大 7 桁まで印字させることが可能です。
またメモ印字の最後尾には、「 ＃ 」の文字が必ず印字されます。

「掛売りにて売上げ登録を行う」

掛売りにて売上げ登録を行うときは、[掛売り]キーを使います。

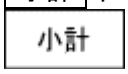
＜例＞

商品単価	数量	部門	支払い
￥1200	1	部門　1	全額掛売り

＜手順＞

1. ＜例＞のように、商品の単価、[部門]キーを押します。

2. [小計]キーを押します。



3. 全額掛売りの場合は、そのまま[掛売り]キーを押します。

（注意）

支払いの一部が掛売りの場合は、[掛売り]キーの入力前に、掛売りの金額を入力します。
その後、現金支払いでの金額を入力して、[現計／預]キーを押してください。

「クレジットカードにて売上げ登録を行う」

クレジットカードにて売上げ登録を行うときは、[カード]キーを使います。

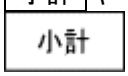
＜例＞

商品単価	数量	部門	支払い
￥1200	1	部門　1	全額クレジットカード

＜手順＞

1. ＜例＞のように、商品の単価、[部門]キーを押します。

2. [小計]キーを押します。



3. 全額クレジットカード支払いの場合は、そのまま[カード]キーを押します。

（注意）

支払いの一部がカードの場合は、[カード]キーの入力前に、カード支払いの金額を入力します。
その後、現金支払いでの金額を入力して、[現計／預]キーを押してください。

「レシートの再発行を行う」

レシートの再発行や、レシート印字を行わない設定時の一時的なレシート発行を行う場合は、
[レシート発行]キーを使います。

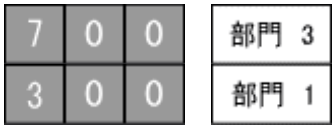
本項の操作を行うときには、**[登録]**のキーを押し続け、表示窓の該当モード上部に[－]が点灯している
ことを確認してください。([登録]モードでの操作方法です。)

＜例＞
下記のように売上げ登録で発行したレシートを再発行する。

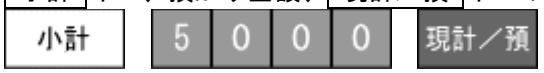
商品単価	数量	部門	預り金
¥700	1	部門　3	¥5000
¥300	1	部門　1	

＜手順＞

1. ＜例＞のように、商品の単価、[部門]キーを押します。



2. [小計]キー、預かり金額、[現計／預]キーの順で押します。



3. レシートが発行された後に、続けて[レシート発行]キーを押します。

4. レシートが再発行されます。

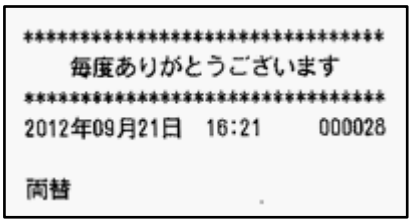
(注意)
「記録」モードでは、レシートの再発行はできません。
また、レシートの再発行は、直近登録終了時のレシートのみです。
(過去の取引に遡ったレシートの発行はできません。)
再発行されるレシートは、日付や時刻、通し番号まで全く同じものが発行されます。

ドロアーを開けるとき、または両替するとき

この操作を行うときには、**[登録]**又は**[記録]**のキーを押し続け、表示窓の該当モード上部に[－]が
点灯していることを確認してください。([登録]か[記録]のいずれかのモードでの操作方法です。)

＜例＞ドロアーを開けたい、または両替を行いたい。

＜手順＞
[両替]キーを押すと、ドロアーが開きます。
(両替のレシートが発行されます。)



バーコードスキャナーを用いての登録作業

本機は、別売りのバーコードスキャナーを接続することにより、商品の登録を簡単に行うことができます。
バーコードスキャナーのセット方法は、59 ページを御参照ください。

バーコードスキャナーを用いて商品登録を行う時には、事前に下記の設定を完了させる必要があります。
下記設定が完了していないと、正しく入力することができません。
必ず事前に設定をお願い致します。

・バーコードスキャナーと、レジスター本体を正しく接続する。⇒ 59 ページ参照
・登録したい各商品のバーコードを事前に読み取らせ、単価やリンク部門を設定する。 ⇒ 45 ページ参照

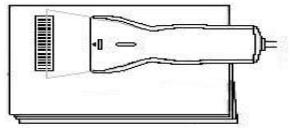
本項の操作を行うときには、**[登録]**又は**[記録]**のキーを押し続け、表示窓の該当モード上部に
[ー]が点灯していることを確認してください。([登録]か[記録]のいずれかのモードでの操作方法です。)

＜例＞
下記のように、商品単価及びリンク部門が設定済み（PLU 設定済み）商品の登録を行う。

商品単価	リンク部門	部門名称（設定済み）	数量	預り金
¥1000	部門 1	専門誌	1	¥5000
¥200	部門 2	文具	5	

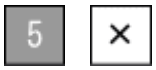
部門への名称設定方法は、42 ページ参照

＜手順＞
1. 商品のバーコードを読み取ります。
（商品が正しく読み取られると、バーコードスキャナーのインジケーターが一瞬緑色になります。）

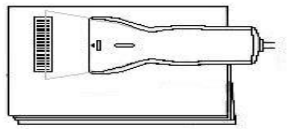


2. 表示窓には、商品の単価が表示されます。

3. 続けて次の商品の登録を行います。
数量が 5 なので、バーコード読み取り前に、乗数登録でのキー操作（ 5 × ）を行います。



4. 商品のバーコードを読み取ります。
（商品が正しく読み取られると、バーコードスキャナーの
インジケーターが一瞬緑色になります。）



5. 小計 キーを押して、預り金額を入力し、 現計／預 キーを押します。

（注意）レシートにはリンク部門の名称が印字されます。

「事前に設定されていないバーコード読み取る場合」

単価やリンク部門が事前に設定されていないバーコードを読み込んだ際には、登録作業中に単価とリンク部門を設定することができます。（登録作業中に PLU 設定を行うことができます。）
（事前の PLU 設定方法につきましては、45 ページ参照）

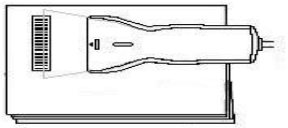
本項の操作を行うときには、**[登録]**又は**[記録]**のキーを押し続け、表示窓の該当モード上部に[－]が点灯していることを確認してください。（[登録]か[記録]のいずれかのモードでの操作方法です。）

＜例＞
単価やリンク部門が事前に設定されていない商品を、登録作業中に下記のように設定する。

商品単価	リンク部門	部門名称（設定済み）	数量	預り金
¥500	部門 1	専門誌	1	¥5000

部門への名称設定方法は、42 ページ参照

＜手順＞
1. 商品のバーコードを読み取ります。
（商品が正しく読み取られると、バーコードスキャナーのインジケーターが一瞬緑色になります。）



2. 事前に設定されていないバーコードなので、表示窓には、 [PRICE + DEPT] と表示されます。

3. この商品に設定させたい 単価、リンクさせたい部門の順で、キーを押します。

[5] [0] [0]　[部門 1]

（読み込んだバーコードの商品が、上記の内容で PLU 登録されます。）

4. [小計] キーを押して、預り金を入力し、[現計／預] キーを押します。

[小計]　[5] [0] [0] [0]　[現計／預]

（注意） レシートにはリンク部門の名称が印字されます。

「設定済みバーコードの単価を一時的に変更する場合」

事前に単価とリンク部門が設定されているバーコードを読み込む際、登録作業中に一時的に設定単価を変更させることができます。(登録作業中に、一時的に事前に設定された単価を変更できます。)
(事前の PLU 設定方法につきましては、45 ページ参照)

本項の操作を行うときには、**[登録]**又は**[記録]**のキーを押し続け、表示窓の該当モード上部に[ー]が点灯していることを確認してください。([登録]か[記録]のいずれかのモードでの操作方法です。)

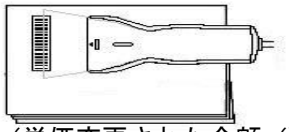
＜例＞
下記のように、商品単価及びリンク部門が設定済み(PLU 設定済み)商品の単価を変更して登録を行う。

商品単価	リンク部門	部門名称(設定済み)	数量	預り金
¥500 ↓ **¥400 に変更**	部門 1	専門誌	1	¥5000

部門への名称設定方法は、42 ページ参照

＜手順＞
1. 最初に、変更したい単価の入力を行い、続けて 単価変更 キーを押します。

2. 商品のバーコードを読み取ります。
(商品が正しく読み取られると、バーコードスキャナーのインジケーターが一瞬緑色になります。)



(単価変更された金額(¥400)で、登録(印字)されます。)

3. 小計 キーを押して、預り金を入力し、 現計／預 キーを押します。

(注意) レシートにはリンク部門の名称が字されます。

各種レポートの発行

各種レポートの発行操作を行うときには、**[点検レポート]**か**「精算レポート」**のキーを押し続け、
表示窓の該当モード上部に[－]が点灯していること確認してください。

点検レポートは、発行時点までの売上合計等を確認するときに発行するレポートです。
点検レポートを発行しても、それまでの売上内容は消去されません。

日計レポートの発行方法については、19 ページ、31 ページを御参照ください。
期間累計レポートの発行方法については、32 ページを御参照ください。

「PLU 毎の売上レポートを発行する」

（このレポートは、バーコードスキャナー（別売り）を使用して登録作業を行っている場合に使用します。
使用していない場合には、レポートの内容は印字されません。）

点検レポートは、発行時点までの売上合計等を確認するときに発行するレポートです。
点検レポートを発行しても、それまでの売上内容は消去されません。

＜手順＞

PLU レポートを発行するときには、**[点検レポート]**か**「精算レポート」**のモードにて、数字キーの
9 、9 を押し、続けて 単価変更 キーを押します。

・「点検レポート」モードで発行した場合：レポート発行を行います。
・「精算レポート」モードで発行した場合：レポート発行後に、自動的にレポート内容が消去されます。

（注意）

業務時間内の売上げ確認の際は、**「点検レポート」**モードにて、業務終了後の〆売上げ確認の際は、
「精算レポート」モードにて上記動作を行ってください。
点検レポートには、『X』、精算レポートには、『Z』のシンボルマークが印字されます。
印字される PLU ナンバーは、バーコードのナンバーと同一となります。

PLU レポート印字例

```
**********************************
     毎度ありがとうございます
**********************************
2012 年 04 月 09 日   16:33       000032

ＰＬＵ別売上レポート                Z
PLU4901681347056                   1
                                ¥250 外
PLU4901681347070                   1
                                ¥350 非
PLU4901681347094                   1
                                ¥150 内
ＰＬＵ売上合計                   ¥750
```

「日計点検レポートを発行する」

各種レポートの発行操作を行うときには、**[点検レポート]**か**「精算レポート」**のキーを押し続け、
表示窓の該当モード上部に[－]が点灯していること確認してください。

点検レポートは、発行時点までの売上合計等を確認するときに発行するレポートです。
点検レポートを発行しても、それまでの売上内容は消去されません。

PLU レポートの発行方法については、30 ページを御参照ください。
期間累計レポートの発行方法については、32 ページを御参照ください。

営業時間内に日計レポートを発行するときには、**「点検レポート」**モードに切り替えて、
現計／預 キーを押します。

日計レポートの印字例

```
X1                    0001          ←X カウンタ （X1 は日計ｼﾝﾎﾞﾙ）
部門 01                  4          ←部門別売上個数
                   ¥11,230 内        ←部門別売上金額
                  |
                  |
部門 08                  1
                     ¥120 内
部門売上合計       ¥21,956           ←部門売上合計
税額 5%             ¥1,045 内       ←内税額
税抜き額 5%        ¥20,911 内       ←内税抜き額
課税対象額 5%      ¥21,956 内       ←内税対象額
税額 5%              ¥0 外          ←外税額
税抜き額 5%          ¥0 外          ←外税抜き額
課税対象額 5%        ¥0 外          ←外税対象額
非課税額             ¥0             ←非課税額
税額合計            ¥1,045          ←税額合計
税抜き額合計       ¥20,911          ←税抜き額合計
課税対象額合計     ¥21,956          ←課税対象額合計
値引合計            ¥-10            ←商品値引き額
                   ¥-100            ←小計値引き額
割引合計           ¥-200            ←商品割引き額
                   ¥-584            ←小計割引き額
割増合計            ¥150            ←商品割増し額
                    ¥263            ←小計割増し額
純売上合計         ¥21,535          ←純売上げ
返品合計           ¥-350            ←返品額
訂正合計           ¥-230            ←訂正額
総売上合計         ¥21,956          ←総売上げ
丸め値引合計         ¥0             ←丸め値引き額
現金売合計           0004           ←現金売り回数
                   ¥15,035          ←現金売り金額
掛売合計             0001           ←掛売り回数
                    ¥5,000          ←掛売り金額
カード売合計         0001           ←カード売り回数
                    ¥1,500          ←カード売り金額
入金合計             0001           ←入金回数
                   ¥20,000          ←入金額
出金合計             0001           ←出金回数
                   ¥10,000          ←出金額
両替合計             0003           ←両替回数
現金在高           ¥25,035          ←現金在高
掛在高              ¥5,000          ←掛在高
カード在高          ¥1,500          ←カード在高
ＧＴ               ¥21,535 ＊       ←純売上げ累計
```

（注意）1 日の業務終了後の日計レポート（〆売上げ）を発行する場合は、19 ページを御参照願います。

「期間累計レポートを発行する」

期間累計のレポートを発行するときには、[**点検レポート**]か**「精算レポート」**のモードのときに、
数字キーの、[1]、[0]を押し、続けて[現計／預]キーを押します。

・「点検レポート」モードで発行した場合：期間累計レポート発行を行います。
・「精算レポート」モードで発行した場合：期間累計レポート発行後に、自動的に累計内容が消去されます。
（GT：純売上げ累計の内容は消去されません。）
「GT」リセット方法につきましては、52 ページを御参照願います。

（注意）
業務時間内の売上げ確認の際は、**「点検レポート」**モードにて、業務終了後の〆売上げ確認の際は、
「精算レポート」モードにて上記動作を行ってください。
期間累計点検レポートには、『X2』、期間累計精算レポートには、『Z2』のシンボルマークが印字されます。

期間累計レポートの印字例

```
Z2                    0001                ←Ｚカウンタ（Z2 は累計ｼﾝﾎﾞﾙ）
部門 01                  4                ←部門別売上個数
                   ¥11,230 内             ←部門別売上金額
                  |
                  |
部門 08                  1
                    ¥120 内
部門売上合計       ¥21,956                ←部門売上合計
税額 5%             ¥1,045 内             ←内税額
税抜き額 5%        ¥20,911 内             ←内税抜き額
課税対象額 5%      ¥21,956 内             ←内税対象額
税額 5%               ¥0 外               ←外税額
税抜き額 5%           ¥0 外               ←外税抜き額
課税対象額 5%         ¥0 外               ←外税対象額
非課税額              ¥0                  ←非課税額
税額合計            ¥1,045                ←税額合計
税抜き額合計       ¥20,911                ←税抜き額合計
課税対象額合計     ¥21,956                ←課税対象額合計
値引合計             ¥-10                 ←商品値引き額
                    ¥-100                 ←小計値引き額
割引合計            ¥-200                 ←商品割引き額
                    ¥-584                 ←小計割引き額
割増合計             ¥150                 ←商品割増し額
                     ¥263                 ←小計割増し額
純売上合計         ¥21,535                ←純売上げ
返品合計            ¥-350                 ←返品額
訂正合計            ¥-230                 ←訂正額
総売上合計         ¥21,956                ←総売上げ
丸め値引合計          ¥0                  ←丸め値引き額
現金売合計           0004                 ←現金売り回数
                   ¥15,035                ←現金売り金額
掛売合計             0001                 ←掛売り回数
                    ¥5,000                ←掛売り金額
カード売合計         0001                 ←カード売り回数
                    ¥1,500                ←カード売り金額
入金合計             0001                 ←入金回数
                   ¥20,000                ←入金額
出金合計             0001                 ←出金回数
                   ¥10,000                ←出金額
両替合計             0003                 ←両替回数
現金在高           ¥25,035                ←現金在高
掛在高              ¥5,000                ←掛在高
カード在高          ¥1,500                ←カード在高
ＧＴ               ¥21,535 *              ←純売上げ累計
```

「電子ジャーナル（EJ）レポートの発行」

電子ジャーナルの発行操作を行うときには、**[点検レポート]**か**「精算レポート」**のキーを押し続け、
表示窓の該当モード上部に[－]が点灯していること確認してください。

本機は、「記録」モードで印字されるジャーナル印字内容を、本体内部で電子的に記録しています。
その記録は、「精算モード」にて印字される精算レポートの内容とは別の部分に記録保存されており、
精算レポートを印字して、売上げ内容が消去されても個々の売上げ記録を別に印字させることが
できます。（☆記憶されている範囲内であれば、過去の売上げジャーナルを発行させることが可能です。）

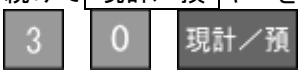
電子ジャーナル（EJ）は、最大 3000 行分が内部に保存され、それを超えると自動的に古い売上内容から
消去されて行きますのでご注意願います。

また、「精算モード」で電子ジャーナルを発行した場合は、発行終了後表示窓に [EJ CLEAR] と
表示され、約一秒間警告音が鳴ります。ここで、[C]キーを押すと、発行した電子ジャーナル内容は
消去されます。（[訂正]キーを押した場合は、消去されません。）

発行されているレポートを一時停止させたい場合は、[C]キーを、発行を中断させたい場合は、
[訂正]キーを押します。
発行を中断させた場合、電子ジャーナルに「**********」と印字されます。

「フル電子ジャーナルレポートを発行する」

レジスター内部に記憶されているすべての電子ジャーナルレポートを発行するときには、
[点検レポート]か**「精算レポート」**のモードにて、数字キーの、[3]、[0]を押し、
続けて[現計／預]キーを押します。



「日計レポート単位で範囲指定して電子ジャーナルレポートを発行する」
（古いデータ順に発行するとき）

日計レポート単位で範囲指定して電子ジャーナルレポートを発行することができます。
[点検レポート]か**「精算レポート」**のモードにて、数字キー（必ず 2 桁）にて範囲を指定し、
続けて[小計]キーを押します。

＜例＞
レジスターには 30 日分の日計レポートが、毎日記録されていると仮定した場合の操作方法です。
30 日前の日計レポートから、10 日分の日計ジャーナルレポートを発行する。（30 日前～20 日前の 10 日分）

＜手順＞
1. 10 日分のレポートなので、[1]、[0]と数字キーを押し、続けて[小計]キーを押します。

（注意）
範囲を指定する数字は、必ず 2 桁を入力する必要があります。（5 日分であれば、[0]、[5]となります。）
また、指定できる数字（日計レポート枚数）は、99 枚　までです。
古いデータの一部のみを発行することはできません。
（最も古いデータ～最新データは発行できますが、10 日前データのみの発行はできません。）

「レシート単位で範囲指定して電子ジャーナルレポートを発行する」（古いデータからの件数を指定するとき）

レシート単位で範囲指定して電子ジャーナルレポートを発行することができます。
[点検レポート]か**「精算レポート」**のモードにて、数字キー（必ず 3 ケタ）にて範囲を指定し、
続けて 入金 キーを押します。

＜例＞
最も古い取引きレシートから、10 取引き分のジャーナルレポートを発行する。

＜手順＞
1. 10 取引き分なので、 0 、 1 、 0 と数字キーを押し、続けて 入金 キーを押します。

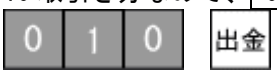
（注意）
範囲を指定する数字は、必ず 3 桁を入力する必要があります。（5 取引きであれば、 0 、 0 、 5 となります。）
また、指定できる数字（レシート枚数）は、999 枚　までです。
古いデータの一部のみを発行することはできません。
（最も古いデータ～最新データは発行できますが、10 取引き前データのみの発行はできません。）

「レシート単位で範囲指定して電子ジャーナルレポートを発行する」（新しいデータからの件数を指定するとき）

レシート単位で範囲指定して電子ジャーナルレポートを発行することができます。
[点検レポート]か**「精算レポート」**のモードにて、数字キー（必ず 3 ケタ）にて範囲を指定し、
続けて 出金 キーを押します。

＜例＞
10 取引き前のレシートから、最新レシートまでのジャーナルレポートを発行する。

＜手順＞
1. 10 取引き分なので、 0 、 1 、 0 と数字キーを押し、続けて 出金 キーを押します。



（注意）
範囲を指定する数字は、必ず 3 桁を入力する必要があります。（5 取引きであれば、 0 、 0 、 5 となります。）
また、指定できる数字（レシート枚数）は、999 枚　までです。
古いデータの一部のみを発行することはできません。
（10 取引き前～最新レシートデータは発行できますが、10 取引き前データのみの発行はできません。）

各種設定の方法

各種設定を行うときには、**[設定モード]**のキーを押し続け、表示窓の該当モード上部に[－]が点灯していること確認してください。([設定モード]での操作方法です。)

『日付を設定する』

日付設定のときの操作方法を説明します。

＜例＞
2012 年 10 月 5 日に設定する。

＜手順＞

1. 値引 キーを 2 回押し、表示窓に [DATE] と表示されていることを確認します。

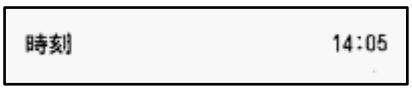
2. 設定する日付を、西暦年（下 2 桁)、月（2 桁)、日（2 桁）の順に入力し、 現計／預 キーを押します。

(注意)
年は、西暦年の下 2 桁を入力します。(2012 年　⇒　12)
月と日は、必ず 2 桁ずつ入力します。(1～9　⇒　01～09)

『時刻を設定する』

時刻を設定するときの操作方法を説明します。

＜例＞
午後 2 時 5 分に設定する。



＜手順＞

1. 値引 キーを 1 回押し、表示窓に [TIME] と表示されていることを確認します。

2. 設定する時刻を、24 時間制で 、時（2 桁)、分（2 桁）の順で入力し、 現計／預 キーを押します。

(注意)
時と分は、必ず 2 桁ずつ入力します。(1～9　⇒　01～09)

レシート印字内容の設定

各種設定を行うときには、**[設定モード]**のキーを押し続け、表示窓の該当モード上部に[－]が点灯していること確認してください。([設定モード]での操作方法です。)

『レシートに印字する電話番号を設定する』

本機は、レシートのヘッダーやフッター部分に、各種メッセージや電話番号を印字させることができます。

＜例＞
電話番号を、0123-45-6789　と設定する。

電話番号	0123-45-6789

＜手順＞

1. 値引 キーを 3 回押し、表示窓に [TEL NO.] と表示されていることを確認します。

2. 0～9 の数字キー及び、・ のキーを用いて、電話番号を入力し、現計／預 キーを押します。

(注意)

・キーは、[－]として入力されます。

☆上記にて電話番号を設定しても、すぐレシートに印字に反映されるわけではありません。
続けて、次のページに記載されている、電話番号出力の設定を行う必要がございます。

『レシートヘッダー部に印字するメッセージを選択する』

レシートのヘッダー部分に印字するメッセージを選択することができます。**(6 行まで)**
印字できるメッセージは、次ページの表　A より選択頂けます。(表 A 以外の任意の文字は印字できません。)

初期状態での、ヘッダー部分は下記のように設定されております。

1 行目　:　**********
2 行目　:　　毎度ありがとうございます
3 行目　:　**********
4 行目　:　(印字なし：空白)
5 行目　:　(印字なし：空白)
6 行目　:　(印字なし：空白)

＜例＞
下記のように、ヘッダー部分を設定する。

1 行目　:　**********
2 行目　:　　お買い上げ有難うございます
3 行目　:　　TEL：0123-45-6789
4 行目　:　**********
5 行目　:　(印字なし：空白)
6 行目　:　(印字なし：空白)

＜手順＞
1. 値引 キーを 4 回押し、表示窓に [HEAD. TEXT] と表示されていることを確認します。

2. 印字させたいメッセージ番号　⇒　印字させたい行に対応する 部門 キーの順で押します。

(1 行目の印字)
(2 行目の印字)
(3 行目の印字)
(4 行目の印字)
(5 行目の印字)
(6 行目の印字)

3. 6 行目まですべて設定完了後に、C キーを押して完了です。

(注意)
メッセージ番号の後に押す 部門 キーは、行数に対応しています。
1 行目　:　部門 1 キー
2 行目　:　部門 2 キー
3 行目　:　部門 3 キー
4 行目　:　部門 4 キー
5 行目　:　部門 5 キー
6 行目　:　部門 6 キー

『レシートフッター部に印字するメッセージを選択する』

レシートのフッター部分に印字するメッセージを選択することができます。**(4 行まで)**
印字できるメッセージは、下記の表　A より選択頂けます。(表 A 以外の任意の文字は印字できません。)

初期状態での、ヘッダー部分は下記のように設定されております。
(すべての行が(印字なし：空白)のため、何も印字されない状態です。)

1 行目　：　(印字なし：空白)
2 行目　：　(印字なし：空白)
3 行目　：　(印字なし：空白)
4 行目　：　(印字なし：空白)

＜例＞
下記のようにフッター部分を設定したい。

1 行目　：　**********
2 行目　：　又の御来店をお待ちしております
3 行目　：　TEL：0123-45-6789
4 行目　：　**********

＜手順＞
1. [値引] キーを 5 回押し、表示窓に [FOOT.TEXT] と表示されていることを確認します。

2. 印字させたいメッセージ番号　⇒　対応する [部門] キーの順で押します。

(1 行目の印字)
(2 行目の印字)
(3 行目の印字)
(4 行目の印字)

3. 4 行目まですべて設定完了後に、[C] キーを押して完了です。

(注意)
メッセージ番号の後に押す 部門 キーは、行数に対応しています。
1 行目：[部門　1] キー、2 行目：[部門　2] キー、3 行目：[部門　3] キー、4 行目：[部門　4] キー

表　A

メッセージ番号	メッセージ
1	(印字なし：空白)
2	**********
3	//////////
4	毎度ありがとうございます
5	お買い上げ有難うございます
6	御来店誠に有難うございます
7	御利用いただき有難うございます
8	又の御来店をお待ちしております
9	電話：　(番号の設定は、36 ページ参照)
10	TEL：　(番号の設定は、36 ページ参照)

割引き率の設定

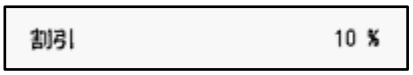
各種設定を行うときには、**[設定モード]**のキーを押し続け、表示窓の該当モード上部に[－]が点灯していること確認してください。([設定モード]での操作方法です。)

本機は、 割引 キーに予め割引き率（0～99%）を設定することができます。

＜例＞
割引 キーに、10%の割引き率を設定する。

＜手順＞
1. 入金 キーを、4 回押し、表示窓に [%－　RATE] と表示されていることを確認します。

2. 設定したい割引き率（この場合は、10%）を入力し、 現計／預 キーを押します。



（注意）
割引き率は、整数%のみ設定可能です。(5.5%等の小数点を含む割引き設定はできません。)

割増し率の設定

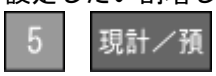
各種設定を行うときには、**[設定モード]**のキーを押し続け、表示窓の該当モード上部に[－]が点灯していること確認してください。([設定モード]での操作方法です。)

本機は、 割増 キーに予め割増し率（0～99%）を設定することができます。

＜例＞
割増 キーに、5%の割増し率を設定する。

＜手順＞
1. 入金 キーを、5 回押し、表示窓に [%＋　RATE] と表示されていることを確認します。

2. 設定したい割増し率（この場合は、5%）を入力し、 現計／預 キーを押します。



（注意）
割増し率は、整数%のみ設定可能です。(5.5%等の小数点を含む割増し設定はできません。)

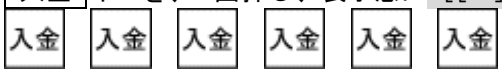
値引き金額の設定

各種設定を行うときには、**[設定モード]**のキーを押し続け、表示窓の該当モード上部に[－]が点灯していること確認してください。([設定モード]での操作方法です。)

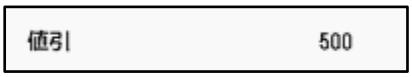
本機は、 値引 キーに予め値引き金額（0～9999999 円）を設定することができます。

＜例＞
値引 キーに、¥500 の値引き金額を設定する。

＜手順＞
1. 入金 キーを、6 回押し、表示窓に [[－]　VALUE] と表示されていることを確認します。



2. 設定したい値引き金額（この場合は、¥500）を入力し、 現計／預 キーを押します。



(注意)
値引き金額は、整数のみ設定可能です。(¥100.5　等の小数点を含む値引き金額設定はできません。)

消費税率の設定

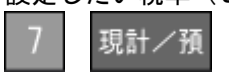
各種設定を行うときには、**[設定モード]**のキーを押し続け、表示窓の該当モード上部に[－]が点灯していること確認してください。([設定モード]での操作方法です。)

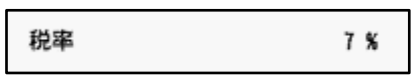
本機は初期状態で、内税方式、消費税 5%（円未満四捨五入）に設定されております。
お客様の設定操作により、税率を変更することが可能です。

＜例＞
消費税率を、7% に設定する。

＜手順＞
1. 値引 キーを、6 回押し、表示窓に [TAX　RATE] と表示されていることを確認します。

2. 設定したい税率（この場合は、7%）を入力し、 現計／預 キーを押します。





(注意)
消費税率は、整数%のみ設定可能です。(5.5%　等の小数点を含む税率設定はできません。)

領収書の収入印紙欄印字金額の設定

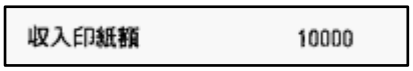
各種設定を行うときには、**[設定モード]**のキーを押し続け、表示窓の該当モード上部に[－]が点灯していること確認してください。([設定モード]での操作方法です。)

本機は、初期状態で領収書の収入印紙欄印字金額が、¥30000　に設定されております。
お客様の設定操作により、収入印紙欄の印字金額を変更することが可能です。

＜例＞
領収書の収入印紙欄印字金額を、¥10000　に設定する。

＜手順＞
1. 値引 キーを 7 回押し、表示窓に [STMP　PRICE] と表示されていることを確認します。

2. 設定したい金額（この場合は、¥10000）を入力し、 現計／預 キーを押します。



(注意)
設定できる金額は、¥0～¥999999　となっています。

領収書の印字方向の設定

各種設定を行うときには、**[設定モード]**のキーを押し続け、表示窓の該当モード上部に[－]が点灯していること確認してください。([設定モード]での操作方法です。)

本機は、初期状態で領収書の印字方向が「縦方向」に設定されております。
お客様の設定操作により、印字方向を「横方向」に変更することが可能です。

＜例＞
領収書の印字方向を「横方向」に変更する。

＜手順＞
1. 値引 キーを 8 回押し、表示窓に [OPTION] と表示されていることを確認します。

2. 数字キーにて、 1 1　と入力し、 現計／預 キーを押します。

(注意)
領収書の印字方向を「縦方向」に変更する場合は、手順 2.の数字キーを 1 0 と入力し
現計／預 キーを押します。

部門キーへの単価設定

各種設定を行うときには、**[設定モード]**のキーを押し続け、表示窓の該当モード上部に[－]が点灯していること確認してください。([設定モード]での操作方法です。)

＜例＞

設定したい部門	設定したい金額
部門　1	¥500
部門　4	¥2000
部門　7	¥5000

＜手順＞

1. 入金 キーを 1 回押し、表示窓に [DPT. PRICE] と表示されていることを確認します。

2. 設定したい金額　⇒　対応する 部門 キーの順で押します。

(注意)
設定できる金額は、¥0～¥999999　となっています。

部門キーへの名称設定

各種設定を行うときには、**[設定モード]**のキーを押し続け、表示窓の該当モード上部に[－]が点灯していること確認してください。([設定モード]での操作方法です。)

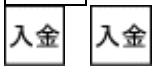
各部門キーに設定する名称を選択することができます。
印字できる名称は、表 B（44 ページ）より選択します。(表 B 以外の任意の文字は設定できません。)

＜例＞

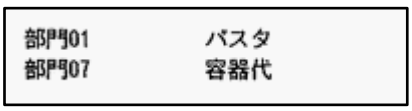
設定したい部門	設定したい名称
部門　1	パスタ　（名称番号：15）
部門　7	容器代　（名称番号：109）

＜手順＞

1. 入金 キーを 2 回押し、表示窓に [DPT. NAME] と表示されていることを確認します。



2. 設定したい名称番号　⇒　対応する 部門 キーの順で押します。



(注意)
設定できる名称は、表 B（44 ページ）からの選択となります。
それ以外の、文字は設定できません。

部門キーへの課税属性設定

各種設定を行うときには、**[設定モード]**のキーを押し続け、表示窓の該当モード上部に[－]が点灯していること確認してください。([設定モード]での操作方法です。)

本機は初期状態で、すべての部門が内税方式、消費税 5%（円未満四捨五入）に設定されております。
お客様の設定操作により、部門毎に課税属性を変更することが可能です。(非課税、内税、外税)

＜例＞

設定したい部門	設定したい税属性
部門　2	内税
部門　5	非課税
部門　8	外税

＜手順＞

1. 入金 キーを 3 回押し、表示窓に [DPT. STATUS] と表示されていることを確認します。

2. 設定したい税属性番号（0～2）　⇒　設定したい 部門 キー　の順で押します。

税属性番号は下記表を御参照ください。

税属性番号	税属性
0	非課税
1	内税（初期値）
2	外税

（注意）
本機は初期状態で、すべての部門が内税方式となっていますので、内税方式にてお使いの場合はこの設定を行う必要はありません。

表 B

名称番号	名称	名称番号	名称	名称番号	名称
1	部門__n（初期値）	38	雑貨	75	殺虫剤・防虫剤
2	一品料理	39	紳士服	76	鎮痛薬
3	うどん・そば	40	生花	77	ドリンク剤
4	お酒	41	装飾品	78	ベビー用品
5	ケーキ	42	履物	79	虫ささされ
6	紅茶	43	婦人服	80	目薬
7	コーヒー	44	帽子	81	カット
8	サンドイッチ	45	輸入雑貨	82	着付け
9	ジュース	46	PC 周辺機器	83	シャンプー
10	汁物	47	家電製品	84	スキンケア
11	セット	48	携帯電話	85	トリートメント
12	ソフトドリンク	49	情報機器	86	パーマ
13	定食	50	消耗品	87	フェイス
14	デザート	51	電球・蛍光灯	88	ヘアカラー
15	パスタ	52	電池	89	メイク
16	ラーメン	53	メディア	90	アウトドア
17	ランチ	54	ＣＤ	91	園芸用品
18	お菓子	55	ＤＶＤ	92	延滞料金
19	お惣菜	56	ゲーム	93	おもちゃ
20	果物	57	コミック	94	カー用品
21	穀物	58	雑誌	95	家庭用品
22	酒類	59	参考書	96	技術料
23	生鮮食品	60	新書	97	キッチン用品
24	精肉	61	専門誌	98	キャンセル料
25	鮮魚	62	単行本	99	クーポン
26	調味料	63	図書カード	100	工賃
27	乳製品	64	文具	101	サービス料
28	飲み物	65	文庫本	102	事務用品
29	パン	66	胃腸薬	103	スポーツ用品
30	麺類	67	医薬品	104	送料
31	野菜	68	衛生用品	105	手数料
32	冷凍食品	69	介護用品	106	入場料
33	レトルト食品	70	外用薬	107	ペット用品
34	アクセサリー	71	風邪薬	108	防災用品
35	衣類	72	漢方薬	109	容器代
36	子供服	73	化粧品	110	利用料
37	小物	74	コンタクト用品	111	その他

PLU の設定

各種設定を行うときには、**[設定モード]**のキーを押し続け、表示窓の該当モード上部に[－]が点灯していること確認してください。([設定モード]での操作方法です。)

本機では、PLU（プライスルックアップ）の設定はスキャナー（別売り）を接続した場合のみ設定が可能です。
スキャナーを接続していないと、PLU の設定・機能の使用はできません。　ご注意ください。
PLU とは、あらかじめ設定された商品番号（バーコードナンバー）毎に商品単価等を記憶させることにより、番号（この場合は、バーコードスキャナーでの読み取り）入力のみで商品登録を行える機能です。

『PLU の設定を行う』

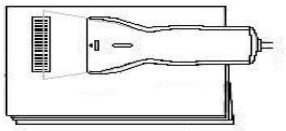
＜例＞
商品 A（バーコード.4562234622039）と商品 B（バーコード .4562234622053）をスキャナーで読み込んだ後に、PLU の設定を行う。　商品単価及びリンクさせる部門は、下表のとおり設定する。

	単価	リンク部門
商品　A No.　4562234622039	¥1500	部門　3
商品　B No.　4562234622053	¥3000	部門　7

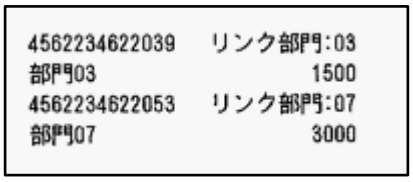
＜手順＞
1. スキャナーを用いて、商品 A のバーコードを読み取ると、表示窓に [PRICE＋DEPT] と表示されます。

2. 設定したい単価　⇒　リンクさせる部門　の順で入力します。

3. 続けて、商品 B のバーコードを読み取ると、同様に表示窓に [PRICE＋DEPT] と表示されます。



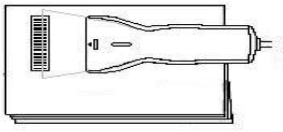
4. 設定したい単価　⇒　リンクさせる部門　の順で入力します。

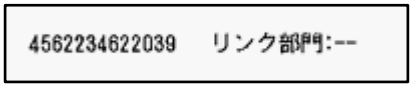


『PLU の削除を行う』

＜例＞
既に登録済みの、商品 A（バーコード No.4562234622039）の PLU の設定を削除する。

＜手順＞
1. スキャナーを用いて削除したい 商品 A のバーコードを読み取ると、表示窓に [PRICE＋DEPT] と表示されます。





2. 返品 のキーを押します。

その他のシステム設定

各種設定を行うときには、**[設定モード]**のキーを押し続け、表示窓の該当モード上部に[－]が点灯していること確認してください。([設定モード]での操作方法です。)

＜例＞
消費税の丸めを「切り捨て」に変更したい。

＜手順＞
1. 値引 キーを 8 回押し、表示窓に [OPTION] と表示されていることを確認します。

2. 下表を参考に、設定内容を変更したいオプション番号　⇒　設定値　⇒ 現計／預 の順で押します。

オプション番号	設定したい項目	設定値
1	領収書の印字方向	**0 ： 縦タイプ （初期値）** 1 ： 横タイプ
2	領収書の名称	**0 ： 領収書 （初期値）** 1 ： 領収証
3	領収書への店名ロゴ印字	**0 ： 印字しない （初期値）** 1 ： 印字する
4	領収書への店名スタンプ印字	**0 ： 印字しない （初期値）** 1 ： 印字する
5	レシートへの店名ロゴ印字	**0 ： 印字しない （初期値）** 1 ： 印字する
6	レシートへの店名スタンプ印字	**0 ： 印字しない （初期値）** 1 ： 印字する
7	レシートへの日付印字	**0 ： 印字する （初期値）** 1 ： 印字しない
8	レシートへの時刻印字	**0 ： 印字する （初期値）** 1 ： 印字しない
9	レシートへの一連番号印字	**0 ： 印字する （初期値）** 1 ： 印字しない
10	記録モードと電子ジャーナル印字タイプ	0 ： 通常印字 **1 ： 圧縮印字 （初期値）**
11	時刻タイプ	**0 ： 24 時間制 （初期値）** 1 ： 12 時間制
12	消費税の丸め	0 ： 切り捨て **1 ： 四捨五入 （初期値）** 2 ： 切り上げ
13	取引き合計の合計額の丸め	**0 ： なし （初期値）** 1 ： 5 円 2 ： 10 円
14	省電力モード	**0 ：使用しない （初期値）** 1 ：15 分 2 ：30 分 3 ：60 分
15	システム基幹部分	☆この項目は絶対に変更しないで下さい！
16	レシートへの印字	0 ： 印字しない **1 ： 印字する （初期値）**

各種設定内容の確認

設定確認を行うときには、**[設定モード]**のキーを押し続け、表示窓の該当モード上部に[－]が点灯していること確認してください。([設定モード]での操作方法です。)

本機は、レジスターの設定内容をレシートに印字出力することができます。

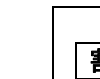
＜手順＞

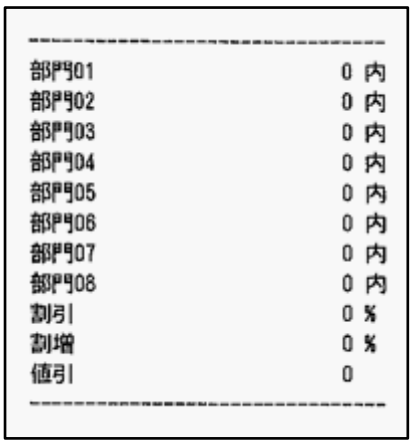
1. 下表を参考に、設定内容を確認したい項目の表示が出るまで 割増 キーを押し、表示窓に該当の確認項目の表示がされていることを確認します。

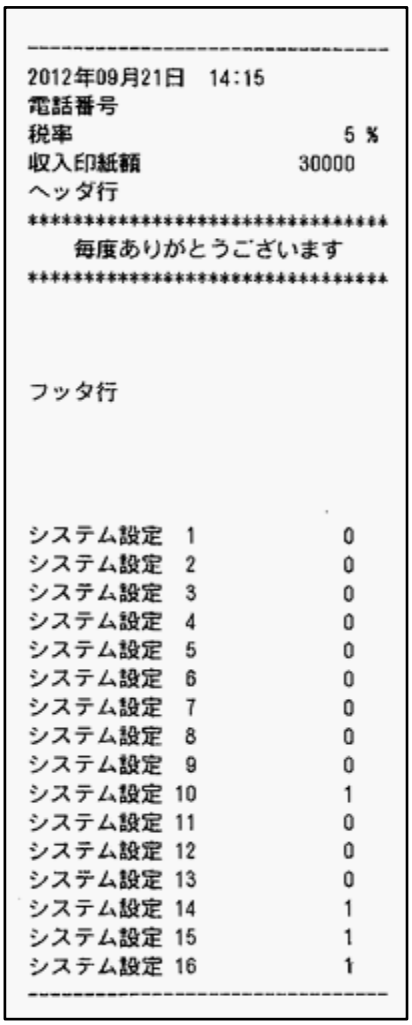
×（任意の押し回数）

割増 キー押し回数	確認項目	表示窓の表示	印字される内容
1 回	部門設定	[DPT　DUMP]	部門の設定内容
2 回	PLU 設定	[PLU　DUMP]	PLU の設定内容
3 回	その他の設定	[OTHER　DUMP]	一般設定内容

2. 現計／預 キーを押すと、該当する項目の内容が印字されます。







SD メモリーカードの使用方法

各種設定を行うときには、**[設定モード]**のキーを押し続け、表示窓の該当モード上部に[－]が点灯していること確認してください。([設定モード]での操作方法です。)

本機は、SD メモリーカード（別売り）を用いて、各種設定内容（部門設定内容、PLU 設定内容等）を保存（バックアップ）することができます。

『SD メモリーカードをフォーマットする』

本機で SD メモリーカードを使用する場合、最初にレジスターを用いてフォーマットする必要があります。

＜手順＞

1. 電源が OFF の状態（表示窓に何も表示されていない）で、SD メモリーカードをレジスターに挿し込みます。
（ ⇒ SD メモリーカードの挿し込み方法につきましては、58 ページを御参照ください。）

2. 設定モード キーを数秒間押し続け、設定モードにてレジスターを動作させます。

3. 値引 キーを 9 回押し、表示窓に [SD FORMAT] と表示されていることを確認します。

4. 現計／預 キーを押すと、[FORMAT OK？]と表示されるので、再度 現計／預 キーを押します。

⇒ [FORMAT OK？] 表示確認後

☆ フォーマットを行わない場合は、C キーを押します。

5. フォーマットが開始されます。

6. 処理中は、「ピッピッピッ…」と音が鳴り、フォーマットが完了すると音が止み、[SD FORMAT] の画面に戻ります。

7. [SD FORMAT]の画面に戻ったことが確認できれば、SD メモリーカードのフォーマットは完了です。

（注意）

SD メモリーカードは、本レジスターでフォーマット作業を行わないと使用することができません。
SD メモリーカードをご使用になる際は、必ず最初に本レジスターでのフォーマット作業を行ってください。

「SDHC」規格対応のもの使用可能ですが、すべての正常動作を保証するものではございません。
（相性等で使用できないものもございます。ご了承ください。）

『SD メモリーカードに各種設定内容を保存する』

本機で SD カードを使用する場合、レジスターを用いて SD メモリーカードをフォーマットする必要があります。
本項での操作を行う前に、SD メモリーカードがフォーマット完了していることをご確認ください。
（SD メモリーカードのフォーマット方法につきましては、48 ページを御参照ください。）

＜手順＞

1. 電源が OFF の状態（表示窓に何も表示されていない）で、SD メモリーカードをレジスターに挿し込む。
（ ⇒ SD メモリーカードの挿し込み方法につきましては、58 ページを御参照ください。）

2. 設定モード キーを数秒間押し続け、設定モードにてレジスターを動作させます。

3. 下表を参考に、設定保存したい項目の表示が出るまで 出金 キーを押し、表示窓に保存項目の表示がされていることを確認します。

出金キー押し回数	保存項目	表示窓の表示	保存される内容
1 回	設定保存	[ALL PRG SV]	一般設定内容
2 回	部門設定保存	[DEPT SV]	部門設定内容
3 回	PLU 設定保存	[PLU SV]	PLU 設定内容
4 回	店名ロゴデータ保存	[GR HEAD SV]	店名ロゴの画像データ
5 回	店名スタンプデータ保存	[GR FOOT SV]	店名ｽﾀﾝﾌﾟの画像データ

4. 現計／預 キーを押すと、「ピ・ピー」と音が鳴り、設定が保存されます。
（表示窓の表示は変わりませんが、エラーが出ない限りは正常に保存完了しています。）

☆各種設定のバックアップデータを SD メモリーカードに保存しておくと、万が一レジスターの設定が消えてしまった場合でも、使用環境を復元することが可能です。

『SD メモリーカードから各種設定内容をレジスターに読み出す』

SD メモリーカードに、設定内容が保存されているときは、レジスターにデータを読み出すことができます。
（設定内容が保存されていない場合には、この処理は行えません。）

＜手順＞

1. 電源が OFF の状態（表示窓に何も表示されていない）で、SD メモリーカードをレジスターに挿し込む。
（ ⇒ SD メモリーカードの挿し込み方法につきましては、58 ページを御参照ください。）

2. 設定モード キーを数秒間押し続け、設定モードにてレジスターを動作させます。

3. 下表を参考に、設定読み出ししたい項目の表示が出るまで 両替 キーを押し、表示窓に読み出し項目の表示がされていることを確認します。

両替キー押し回数	読み出し項目	表示窓の表示	読み出しされる内容
1 回	設定読み出し	[ALL PRG LD]	一般設定内容
2 回	部門設定読み出し	[DEPT LD]	部門設定内容
3 回	PLU 設定読み出し	[PLU LD]	PLU 設定内容
4 回	店名ロゴデータ読み出し	[GR HEAD LD]	店名ロゴの画像データ
5 回	店名ｽﾀﾝﾌﾟデータ読み出し	[GR FOOT LD]	店名ｽﾀﾝﾌﾟの画像データ

4. 現計／預 キーを押すと、「ピ・ピー」と音が鳴り、設定が読み出されます。
（表示窓の表示は変わりませんが、エラーが出ない限りは正常に読み出し完了しています。）

☆別売りの、店名ロゴ、店名スタンプ入りの SD メモリーカード設定方法は、50 ページを御参照ください。

『SD メモリーカードから店名ロゴや店名スタンプをレジスターに読み出す』

弊社より別売りでお買い上げ頂いた、店名ロゴデータ、店名スタンプデータ入りの
SD メモリーカードの画像データをレジスターに読み込ませることができます。

☆店名ロゴ及び店名スタンプの印刷イメージにつきましては、51 ページを御参照ください。

＜手順＞

まずは、店名ロゴデータの読み出しを行います。

1. 電源が OFF の状態（表示窓に何も表示されていない）で、SD メモリーカードをレジスターに挿し込む。
（ ⇒ SD メモリーカードの挿し込み方法につきましては、58 ページを御参照ください。）

2. 設定モード キーを数秒間押し続け、設定モードにてレジスターを動作させます。

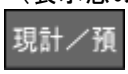
3. 両替 キーを 4 回押し、表示窓に [GR HEAD LD] と表示されていることを確認します。

4. 現計／預 キーを押すと、「ピ・ピー」と音が鳴り、設定が読み出されます。
（表示窓の表示は変わりませんが、エラーが出ない限りは正常に読み出し完了しています。）

続けて、店名スタンプデータの読み出しを行います。

5. 両替 キーを 1 回押し、表示窓に [GR FOOT LD] と表示されていることを確認します。

6. 現計／預 キーを押すと、「ピ・ピー」と音が鳴り、設定が読み出されます。
（表示窓の表示は変わりませんが、エラーが出ない限りは正常に読み出し完了しています。）



（注意）

上記の操作を完了すると、自動的にレシートと領収書に店名ロゴ、店名スタンプの両方が印字される
設定に変更されます。

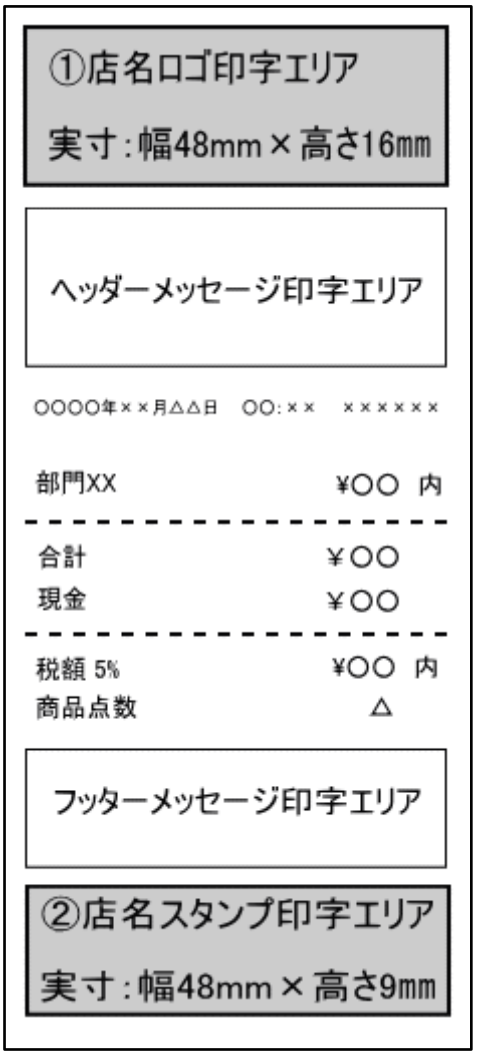
（46 ページの「その他のシステム設定」にて、システム設定を変更する必要はありません。）

『店名ロゴ及び店名スタンプの印刷イメージ』

弊社より別売りでお買い上げ頂く、店名ロゴ及び店名スタンプの印刷イメージは下記になります。

［領収書：縦タイプでの印刷イメージ］

［レシートでの印刷イメージ］



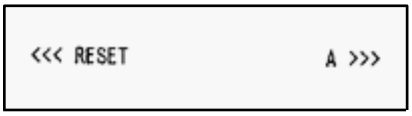
［領収書：横タイプでのイメージ］

☆店名ロゴ及び店名スタンプは、「その他システム設定：46 ページ」にて、印字する・しないを各々選択することができます。

レジスターをリセットする

レジスターをリセットするときの操作方法です。
レジスターがどのモードで動作していても本操作を行うことが可能です。（電源オフの状態でも可能です。）

＜例＞
レジスターを初期状態（お買い上げ時の状態）に戻したい。



＜手順＞

1. C キーと、 9 キーを同時に 2 秒以上長押しします。
C ＋ 9 （同時に約 2 秒以上同時押し）

2. 表示窓に、 [RESET] と表示されます。

3. 完全リセットのリセットコード 「9 9 9」を入力します。
9 9 9

4. 「ピピッ」と音が鳴り、リセットが完了します。
リセット完了後のレジスターは、「設定モード」にて待機状態となります。
必要に応じてモードを切り替えてご使用ください。

リセットコード	リセットされる内容
999	設定、売上げレポート等、すべてがリセット（初期状態）されます。
333	売上げレポートと、登録途中の売上内容がリセットされます。（設定内容は残る）
111	登録途中の売上内容のみがリセットされます。（設定内容、売上レポートは残る）

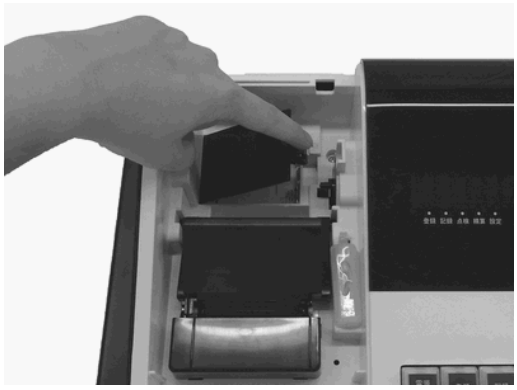
備品・消耗品のセットアップと交換

「設定内容保持（バックアップ）用乾電池のセット、交換」

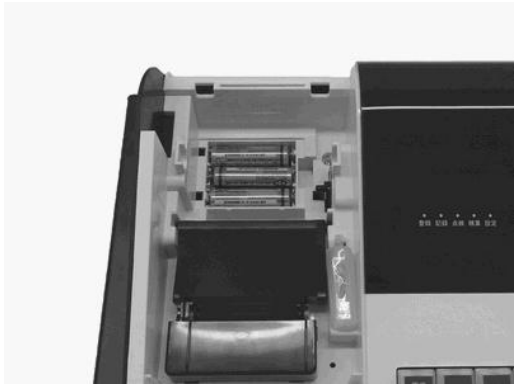
初めてお使いになる場合は、最初に必ず乾電池（単三形 3 本）をセットする必要があります。
尚、乾電池は別売りとなっておりますのでお買い求めの上、セットしてください。
乾電池は 1 年に 1 回の交換を目安としてください。

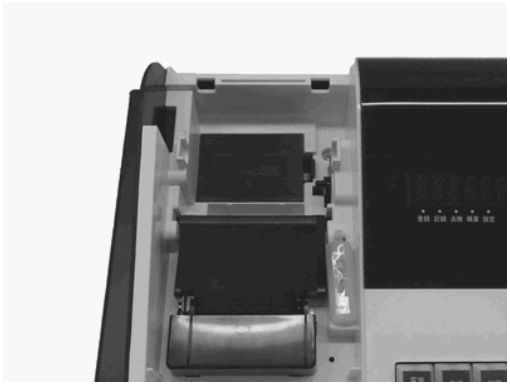
＜手順＞

1. 本体左側のプリンターカバーを開け、電池 BOX のフタを開けます。



2. 乾電池（単三形×3 本）を極性に注意して確実にセットし、フタをします。





3. 手順 1 の逆の要領で、プリンターカバーを取り付けて完了です。

注 意

電池を入れずに使用すると、日付、時刻、集計、設定された情報等が消えてしまいます。
電池セット及び交換は、電源プラグをコンセントに挿し込んだ状態で行ってください。
乾電池は、３本とも同種類の国産新品を使用してください。

「ロール紙のセット（登録：レシートモードでの使用の場合）」

ロール紙を**「レシート」**として用いる場合のセット方法です。

＜手順＞

1. 登録 キーを 2 秒以上長押しし、
   登録モードに切り替えます。

2. プリンターカバーを開きます。

3. 紙押さえローラーを上方に起こします。

4. ロール紙を図のようにセットします。

5. 紙押さえローラーを戻します。
   （カチッと音がするまでセットしてください）

6. プリンターカバーのカッター部分にロール紙を通します。

7. プリンターカバーを閉じ、不要なロール紙をカットして準備完了です。

☆ロール紙をレシートとして用いる場合、ジャーナル巻き取りホルダー（付属品）は使用しません。

注 意 本機は必ずロール紙を取り付けてご使用ください。
ロール紙の規格は、「紙幅 57～58mm×外径 60mm 以下」感熱紙タイプ です。

「ロール紙のセット（記録：ジャーナルモードでの使用の場合）」

ロール紙を**「ジャーナル」**として用いる場合のセット方法です。

＜手順＞

1. 記録キーを 2 秒以上長押しし、
   記録モードに切り替えます。

2. プリンターカバーを開けます。

3. 紙押さえローラーを上方に起こします。

4. ロール紙を図のようにセットします。

5. 紙押さえローラーを戻します。
   （カチッと音がするまでセットしてください）

6. ジャーナル巻き取りホルダーの溝にロール紙
   を挿し込み、数回巻きつけます。

7. ジャーナル巻き取りホルダーをセットし、
   紙送りキーを押し続け、たるみを
   取ります。

8. 手順 2 の逆の要領で、プリンターカバーを
   取り付けて完了です。

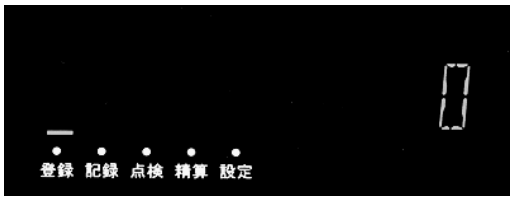
注 意　本機は必ずロール紙を取り付けてご使用ください。
ロール紙の規格は、「紙幅 57～58mm×外径 60mm 以下」感熱紙タイプです。

「ロール紙の交換（登録：レシートモードでの使用の場合）」

ロール紙を**「レシート」**として用いている場合の交換方法です。
ロール紙の残量が少なくなると、紙のふちに赤い線が出てきます。
この場合は、なるべく早めに新しいロール紙と交換してください。

＜手順＞

1. 登録 キーを 2 秒以上長押しし、
   登録モードに切り替えます。

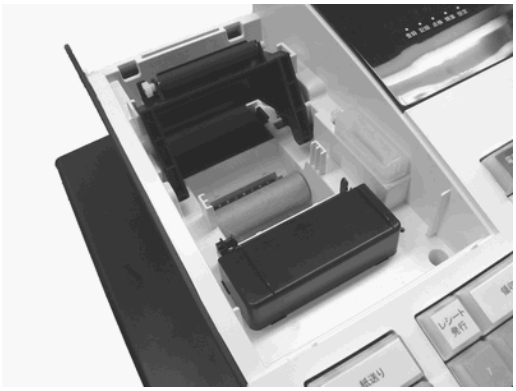


2. プリンターカバーを開けます。

3. 紙送り キーを押してロール紙を空送りし、
   印字されていない部分で紙を切り離します。

4. 紙押さえローラーを上方向に起こします。

5. 本体に残っているロール紙の芯を
   取り除きます。



参 照

再度ロール紙を取り付ける場合の手順は、54 ページを御参照ください。

「ロール紙の交換（記録：ジャーナルモードでの使用の場合）」

ロール紙を**「ジャーナル」**として用いている場合の交換方法です。
ロール紙の残量が少なくなると、紙のふちに赤い線が出てきます。
この場合は、なるべく早めに新しいロール紙と交換してください。

＜手順＞

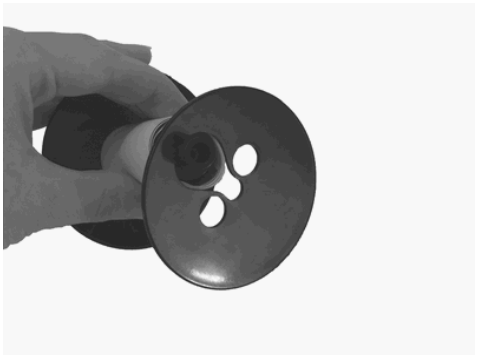
1. 記録 キーを 2 秒以上押し続けて、
   記録モードに切り替えます。

2. プリンターカバーを開きます

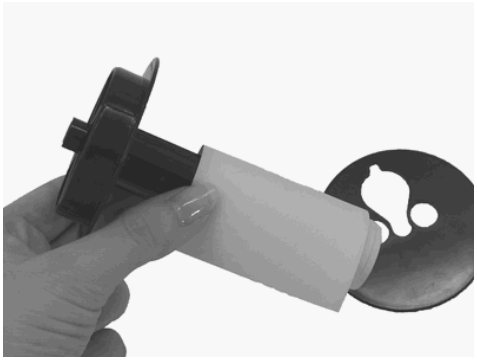
3. 紙送り キーを押してロール紙を空送りし、
   印字されていない部分で紙を切り離します。

4. ジャーナル巻き取りホルダーを取り外します。

5. ジャーナル巻き取りホルダーの左側板をずらして、
   取り外します。



6. 印字済みのロール紙を取り外します。



参 照

再度ロール紙を取り付ける場合の手順は、55 ページを御参照ください。

SD メモリーカードのセット方法

SD メモリーカードの抜挿しを行うときには、**「電源オフ」**のキーを押し続け、表示窓に何も表示されていないことを確認してください。
電源が入った状態で SD メモリーカードを抜挿しすると、保存されたデータが破損し、データが読み込めなくなる可能性がございます。

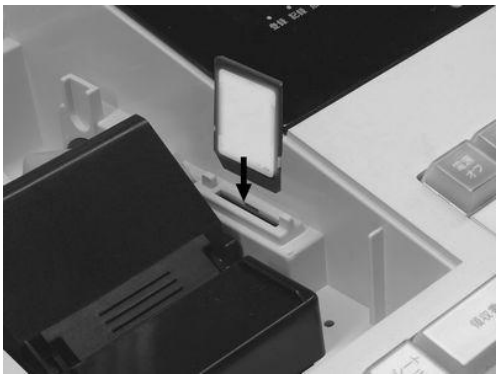
＜手順＞

1. 電源オフ キーを 2 秒以上長押しし、表示窓に何も表示されていないことを確認してください。

2. プリンターカバーを開き、ラバーキャップを開けます。

3. SD メモリーカードを SD スロットに挿入します。

カードの挿入向きに、ご注意ください。



4. ラバーキャップを閉じ、手順 2 の逆の要領で、プリンターカバーを取り付けて完了です。

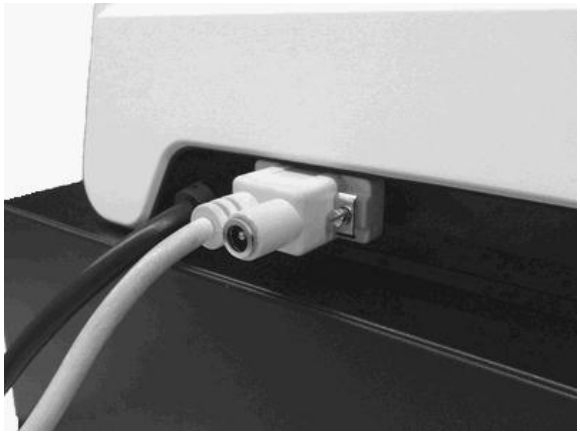
バーコードスキャナーのセット方法

バーコードスキャナーの抜挿しを行うときには、**「電源オフ」**のキーを押し続け、表示窓に何も表示されていないことを確認してください。
電源が入った状態でバーコードスキャナーを抜挿しすると、バーコードスキャナーやレジスターが破損する可能性がございます。

＜手順＞

1. 電源オフ のキーを、2 秒以上長押しし、表示窓に何も表示されていないことを確認してください。

2. 本体背面にある COM ポートにバーコードスキャナーを正しく取り付けます。



3. そのままバーコードスキャナーを使用して売上げ登録作業を行う場合は、 登録 または 記録 キーを、設定作業を行う場合は、 設定モード キーを 2 秒以上長押しし、電源をオンにしてください。

4. 電源を入れると、「ピピッ！」と音が鳴り、バーコードスキャナーのインジケーターが赤く点灯します。
（赤く点灯していれば、バーコードスキャナーのセットは完了です。）

レジスター本体に、バーコードスキャナーを接続して電源をオンにすると、矢印の箇所のインジケーターが赤く点灯します。

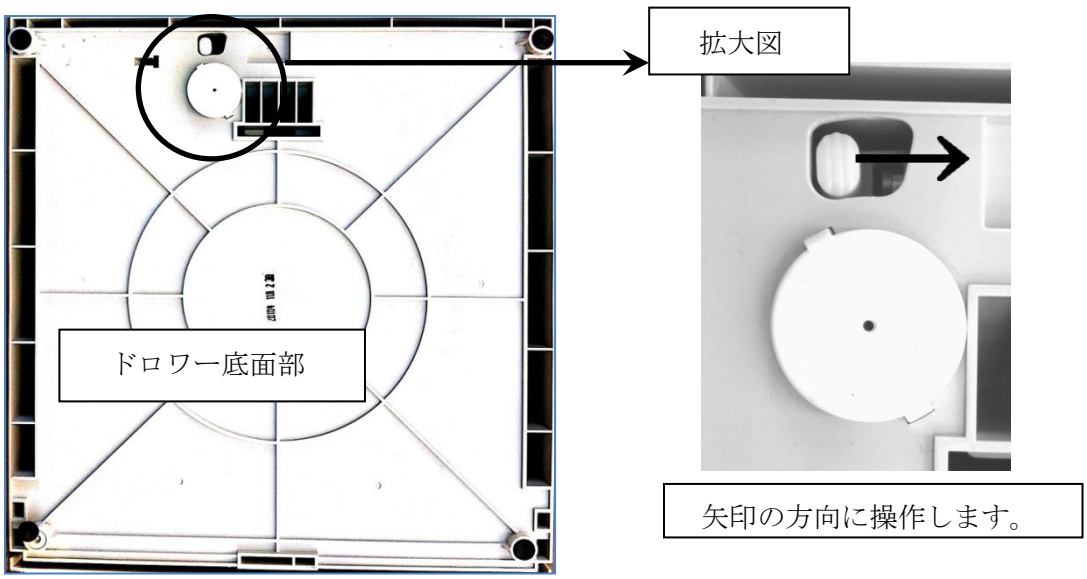
（注意）
バーコードスキャナーをセットする前には、必ず 9 ページの「お使いになる前の準備」をすべて完了させてください。
またバーコードスキャナーは、弊社指定の機種のみをご使用ください。指定以外のバーコードスキャナーを使用した場合、レジスターやバーコードスキャナーが破損する恐れがあります。
修理保証の対象にもなりませんのでご注意ください。

故障かな？と思ったら

次のような場合は、故障ではないことがあります。
修理を依頼される前に、もう一度ご確認ください。

電源が入らない。 （表示窓に何も表示されない）	●電源コネクターがコンセントから外れていませんか？ ●電源コンセントまで電源が来ていますか？ ●電源 ON の操作は行いましたか？　⇒　（7 ページ） ●省電力モードになっていませんか？　⇒　（46 ページ）
電源は入っているが、登録作業ができない。	●登録を行うモードでレジは動いていますか？　⇒　（7 ページ）
レシートが発行されない	●紙詰まりを起こしていませんか？ ●ロール紙の残量は十分ですか？ ●「記録」（ジャーナル）モードで使用していませんか？（7 ページ） ●レシートオフモードの設定になっていませんか？（46 ページ）
ジャーナルが巻き取られない	●ジャーナル巻き取りホルダーは、正しくセットされていますか？ ●ロール紙の先端が正しくジャーナル巻き取りホルダーにセットされていますか？ ●「登録」（レシート）モードで使用していませんか？（7 ページ）
レシート印字がおかしい	●ロール紙の種類やサイズは正しいものを使用していますか？（54 ページ） ●ロール紙は、正しくセットされていますか？（54 ページ） ●プリンターのヘッド部分に異物が付着していませんか？ ●紙押さえローラーは確実にセットされていますか？
設定内容が消えてしまった	●設定保持用乾電池は正しくセットされていますか？また、消耗していませんか？（53 ページ）
バーコードスキャナーが使えない	●弊社指定のバーコードスキャナーを使用していますか？ ●バーコードスキャナーは正しくセットされていますか？（59 ページ）
ドロアーが開かない	●ドロアーにカギが掛かっていませんか？ ●ドロアー内部で異物が引っかかっていませんか？

電源がオフの状態でドロアーを開きたいとき（購入直後等）や、万一の停電や故障等でドロアーが開かなくなったときは、下図を参照にドロアー底面のスイッチ（ドロア開放レバー）を操作してください。



仕　様

型　　式	600LS		
表　示　部	16 セグメント VFD　10 桁（前面／背面）		
印　字　部 （プリンター）	サーマルプリンタ 印字方式：感熱方式（サーマル） 印字速度：12 行／秒（Max） 桁　　数：半角 32 桁（全角 16 桁） 紙　　幅：58±0.5mm 寿　　命：2000000 行		
メモリー保護	単 3 形乾電池 3 本使用（マンガン電池の場合、記憶保持期間：約 1 年）		
定格電圧／周波数 ／消費電力・電流	100V　、　50／60Hz　、　47W・0.7A		
機　　能	部　門	8 部門	
	PLU	500（スキャナーによる登録のみ）	
	税	内税、外税、非課税（部門毎に選択、初期値は内税：5%）	
	支払い	現金、カード、掛売り	
	レポート	日計レポート（点検／精算） 累計レポート（点検／精算、日計レポート発行毎に加算） PLU レポート 電子ジャーナルレポート（点検／精算：最大 3000 行）	
	設定可能な 項目	日付、時間、税率（0～99%）、割引き・割増し率（0～99%）、値引き	
		部門	課税方式、金額、名称（一覧からの選択のみ）
		PLU	金額、連結部門
		その他	店名スタンプ、店名ロゴ、税額丸め、取引き合計丸め、 省電力モード、レシート印字・非印字、 ヘッダー・フッターへの印字文字設定（選択式） 部門への名称設定（選択式） 領収書発行方向（縦・横）
	その他	SD メモリーカードでの各種設定内容保存、読出し（SDHC 規格対応） バーコードスキャナー（別売り）による商品登録、設定 （専用 COM ポート接続） 各種設定内容の印字	

・本書の内容は、製品の改良、仕様変更等によって予告なく変更することがあります。
・本製品の使用、故障、修理などによるデータの消失、変化に原因の伴う損害等、第三者からの如何なる請求につきましても、弊社は責任を負いかねます。
・本書記載のレシート、ジャーナル、領収書、画面やイラスト等は実際の製品と異なる場合がございます。

保証およびアフターサービス

「保証とアフターサービス」

保証書はよくお読みください。
保証期間は、お買い上げ日から 1 年間となります。(新品購入の場合のみ)
保証書は、必ず【お買い上げ日・販売店】などの記入をお確かめの上、販売店よりお受け取りください。
(内容をよくお読みの上、大切に保管してください。)

販売日及び販売店の記載のない保証書は無効となりますのでご注意ください。

「修理を依頼されるときは」

修理につきましては、お客様より弊社に該当機を送付頂き、弊社にて解析修理を行った後に、
お客様にお返しする、センドバック方式となっております。
(弊社への輸送料は、お客様自身のご負担となります。)
また、修理期間中の代替えレジスターの貸し出し等のサービスは行っておりません。御了承ください。

修理を依頼される前に、60 ページの「故障かな？と思ったら」に従い確認を行ってください。
症状が改善されない場合は、下記の手順にて処置を行ってください。

■保証期間中は・・・
保証書の規定通り、修理対応させて頂きます。
保証書をご用意の上、お買い上げの販売店か、下記の「お客様相談センター」へご連絡ください。

■保証期間を過ぎているときは・・・
保証書をご用意の上、お買い上げの販売店か、下記の「お客様相談センター」へご連絡ください。
修理にて使用可能な製品につきましては、ご希望により有料にて修理致します。

「お客様相談センター」

■製品の機能や操作などに関するご質問に、サービス係がお電話でお答え致します。
■修理の受付や手配、お電話による問診を致します。

お客様相談センター

0596-37-5252

〒519-0501
三重県伊勢市小俣町明野 306-1　「クローバー電子株式会社」

受付時間：平日のみ　AM9:00～12:00　, PM1:00～5:00
土日祝日、年末年始、ゴールデンウィーク、お盆休み、弊社休業日等を除く

電子レジスター製品保証書

機種名		600LS	シリアル No#	
保証期間		お買い上げ年月日 年　月　日から 本体１年		
お客様	ご住所	〒		
	ご氏名 TEL	様 TEL ：		
販売店	店名 住所	〒 TEL ：		

※販売店様へのお願い

一般ユーザー様の保護のため必ず、販売店名、住所、販売年月日等の押印・記入をお願い致します。

販売元

クローバー電子株式会社

お問い合わせ/お客様相談センター

0596-37-5252

※保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ大切に保管してください。

保証期間中

取扱説明書に従った、正常な使用状態での故障に関しましては、保証期間中は無償にて修理致します。
（但し、弊社までの輸送料は除く。）
修理につきましては、お客様より弊社に該当機を送付頂き、弊社にて解析修理を行った後に、
お客様にお返しする、センドバック方式となっております。
（弊社への輸送料は、お客様自身のご負担となります。）
また、修理期間中の代替えレジスターの貸し出し等のサービスは行っておりません。御了承ください。

本保証書を添えて、お買い上げ店または弊社お客様相談センターまでご連絡ください。
また内部外部問わず、ご購入の製品加工に伴い生じた不具合に対し、加工費等の保証は行いません。
なお、保証期間中でも下記の場合は有償修理となります。

1) 誤用や乱用または取扱い不注意による故障と弊社が判断する場合。
2) 火災／地震／水害及び盗難等の災害によるもの
3) 不当な解体、改造及び異常電圧による故障と弊社が判断する場合
4) 使用中に生じた傷や変色等の外観上の変化
5) 本保証書のない場合や、必要事項（お買い上げ日、販売店名、捺印等）の記入がない場合。

保証期間外

修理にて使用可能な製品につきましては、ご希望により有料にて修理致します。

保証の対象

本書は、日本国内の使用においてのみ有効です。(海外での使用に関しては、対象外となります。)
保証の対象は本体のみです。　消耗品及び付属品は対象外とさせて頂きます。

Rev.B

Printed in Malaysia